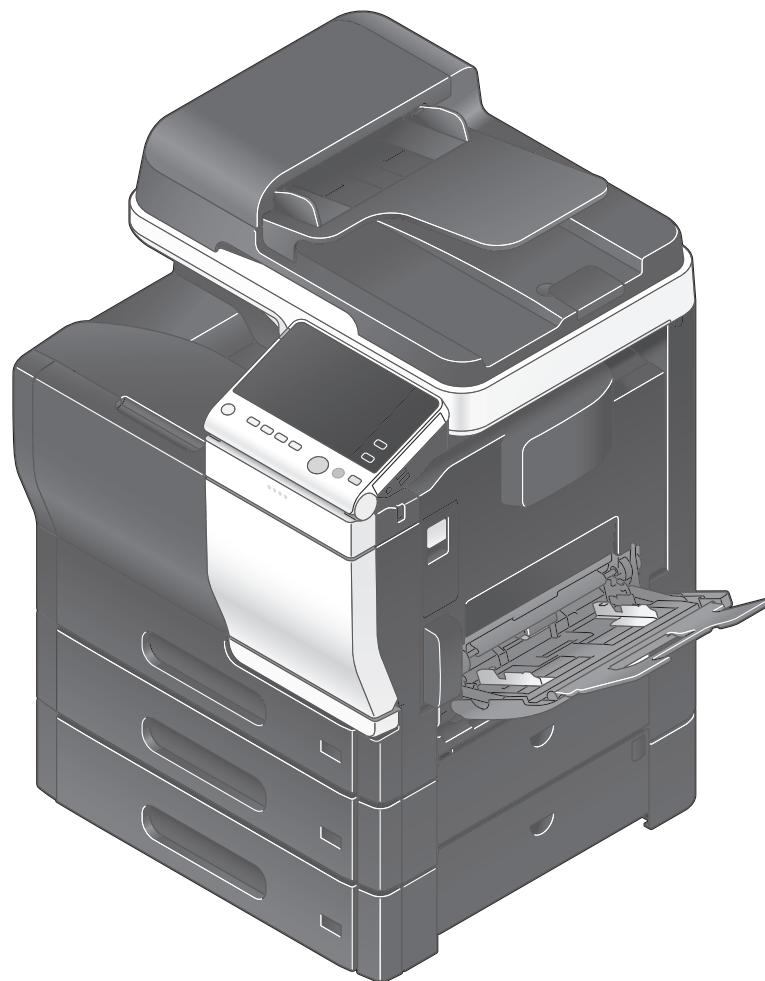


bizhub C3851

すぐに使える簡単設定ガイド



目次

- 1. 安全にお使いいただくために
- 2. マニュアルについて
- 3. 本機の概要
- 4. 用紙のセット方法
- 5. 本機の初期設定
- 6. 基本的な使い方
- 7. 索引

本書に、乱丁、落丁などがありましたら、サービス実施店
もしくは、最寄の販売店にご連絡ください。新しいものと
お取替えいたします。

もくじ

1 安全にお使いいただくために

1.1	はじめに.....	1-2
	国際エネルギー・スター・プログラムについて	1-2
	国際エネルギー・スター・プログラム対象製品とは？	1-2
	省エネルギー設計	1-2
	使用可能な用紙	1-2
	自動両面機能	1-2
	エコマークについて	1-3
1.2	安全にご使用いただくために	1-4
	絵表示の意味	1-4
	おもな図記号の例として以下のものがあります。	1-4
	電源接続について	1-4
	設置について	1-7
	本機の使用に際して	1-8
	消耗品について	1-9
1.3	適合宣言文	1-11
	レーザーの安全性	1-11
	内部レーザー放射	1-11
	レーザー安全ラベル	1-12
	オゾン放出	1-12
	電波障害について	1-12
	USB Host	1-12
	高調波電流について	1-12
	2次電池（充電式リチウム電池）の使用について	1-12
	物質工ミッショナについて	1-12
	エネルギー消費効率について	1-13
	装置に使用される図記号について	1-13
1.4	注意表記・注意ラベル	1-14
1.5	設置スペース	1-15
	正面図	1-15
	右側面図	1-15
	右側面図（オプション装着時）	1-16
1.6	使用上のご注意	1-17
	設置電源	1-17
	使用環境	1-17
	コピーの保存について	1-17
	トナーカートリッジの取り扱いについて	1-17
	換気について	1-17
	本機内部の保存データについて	1-17
	運搬時のご注意	1-18
	製品に風をあてないでください	1-18
	機械・消耗品のリサイクル／リユース	1-19
	保守サービス	1-19
1.7	複製禁止事項	1-20
	法律により複製を禁止されているもの	1-20
	著作権の対象となっているもの	1-20
	注意を必要とするもの	1-20
1.8	商標について	1-21
	Copyright	1-22
	免責	1-22
1.9	ソフトウェア使用許諾契約書	1-23
1.10	i-Option LK-105 v4(サーチャブル PDF) エンドユーザー・ライセンス契約書	1-24

2 マニュアルについて

2.1	本機の使用目的について	2-2
	使用目的.....	2-2
	許容できない操作条件	2-2
	免責.....	2-2
2.2	ユーザーズガイドの構成	2-3
2.2.1	ユーザーズガイド CD	2-3
	トップページの構成	2-4
	動作環境.....	2-4
	トップページの表示のしかた	2-4
2.2.2	本機の使用者について	2-5
2.2.3	本文中の表記や記号について	2-5
	手順文について	2-5
	本文中の記号について	2-5
	アプリケーションの名称と表記について	2-6

3 本機の概要

3.1	本機について	3-2
3.1.1	各部の名前	3-2
	前面	3-2
	前面：自動原稿送り装置を開いた状態.....	3-3
	側面／背面	3-4
3.1.2	オプションの構成	3-5
	オプション構成一覧	3-5
	その他のオプション構成一覧	3-6
3.2	電源について	3-7
3.2.1	電源スイッチ／電源キーの場所	3-7
3.2.2	電源スイッチを ON/OFF する	3-8
3.2.3	電源キーを使う	3-8
	パワーセーブキーとしてお使いの場合	3-9
	副電源 OFF キーとしてお使いの場合	3-9
3.3	操作パネルについて	3-10
3.4	タッチパネルの操作	3-12
	タップ	3-12
	ダブルタップ	3-12
	フリック	3-12
	ドラッグ	3-13
	パン	3-13
	ロングタップ	3-13
	ドラッグ＆ドロップ	3-14
	ピンチイン／ピンチアウト	3-14
	ローテーション	3-15
	テンキーの表示	3-15
	テンキーの移動	3-15
	入力／選択画面の切換え操作	3-16
	タッチパネル使用上のご注意	3-16
3.5	トップメニューについて	3-17
3.6	文字入力のしかた	3-18

4 用紙のセット方法

4.1	用紙について	4-2
4.1.1	対応する用紙の種類を確認する	4-2
4.1.2	対応する用紙のサイズを確認する	4-3
4.1.3	使用上のご注意	4-3
	使用できない用紙	4-3
	用紙の保管のしかた	4-3
4.2	手差しトレイにセットする	4-4
	手差しトレイへのセットのしかた	4-4

4.3	トレイ 1 にセットする.....	4-6
-----	-------------------	-----

5 本機の初期設定

5.1	ネットワーク接続の準備（管理者向け）.....	5-2
	LAN ケーブルの接続を確認する	5-2
	IP アドレスを割当てる	5-2
5.2	ファクスの準備（管理者向け）.....	5-3
	モジュラーケーブルの接続を確認する.....	5-3
	お使いの電話回線の種類を指定する.....	5-3
	構内回線（PBX）環境で使うための準備をする.....	5-3
	ファクスの受信方法を選ぶ.....	5-3
	発信元情報を登録する	5-3
	本機の日時を設定する	5-3
5.3	セキュリティの設定（管理者向け）.....	5-4
5.3.1	ハードディスクの設定	5-4
5.3.2	〔簡単セキュリティー設定〕の設定	5-4
5.4	管理者パスワードについて	5-4

6 基本的な使い方

6.1	プリント機能を使う（Windows 環境の場合）	6-2
6.1.1	プリンタードライバーについて	6-2
6.1.2	印刷の準備（ネットワーク接続）.....	6-2
	LAN ケーブルの接続を確認する	6-2
	ネットワーク設定を確認する	6-2
	プリンタードライバーをインストールする	6-2
6.1.3	印刷の準備（USB 接続）.....	6-4
	インストール設定を変更する (Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016)	6-4
	プリンタードライバーをインストールする	6-5
6.1.4	プリンタードライバーの初期設定	6-6
6.1.5	印刷のしかた	6-7
6.2	スキャン送信機能を使う	6-8
6.2.1	スキャン送信機能でできること	6-8
6.2.2	送信のしかた	6-8
6.3	ファクス機能を使う	6-11
6.3.1	ファクス機能について	6-11
6.3.2	送信のしかた	6-11
6.3.3	ファクス送信機能の紹介	6-12
6.3.4	ファクス受信機能の紹介	6-13
6.3.5	インターネットファクス機能の紹介	6-13
6.3.6	IP アドレスファクス機能の紹介	6-14
6.4	コピー機能を使う	6-15
6.4.1	コピーのしかた	6-15
6.4.2	コピー機能の紹介	6-16
6.5	USB メモリー内のファイルを印刷する	6-18
	対応する USB メモリー	6-18
	印刷のしかた	6-18
6.6	宛先を登録する	6-20
6.6.1	短縮宛先について	6-20
6.6.2	短縮宛先を登録する	6-20
	設定メニューから登録する	6-20
	アドレス帳から登録する	6-24
	ファクス / スキャン基本画面から登録する	6-24

7 索引



1

安全にお使いいただくために

1 安全にお使いいただくために

1.1 はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本章は、下記について記載しております。製品のご使用前に必ずお読みください。

- 製品を安全に使用していただくために守っていただきたいことがら。
- 製品の安全性に関する情報。
- その他、製品を使用する上での注意事項。

ユーザーズガイド内で使用しているイラストや画面などは、実際の装置や画面とは異なる場合があります。

国際エネルギーestarプログラムについて



当社は、国際エネルギーestarプログラムの参加業者です。本製品は国際エネルギーestarプログラムの対象製品に関する基準を満たしています。

国際エネルギーestarプログラム対象製品とは？

国際エネルギーestarプログラムは、エネルギー効率に配慮した製品の開発と普及を目的とした任意の制度です。

本製品は、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

省エネルギー設計

本製品は消費電力の低減を目指した設計です。

一定期間マシンを使用しない場合に、自動的に本体の消費電力を抑制する節電モードに切り替わる機能を搭載しています。節電モード（スリープモードなど）に入る時間を短くすることで、消費電力の低減が可能です。

使用可能な用紙

本製品は再生紙の使用が可能です。

薄紙 (64g/m²) の使用を保証しており、薄紙をご使用頂くことで、省資源、環境負荷低減に貢献できます。

推奨再生紙：コニカミノルタ KR - 100 (坪量 66g/m²、古紙配合率 100%、白色度 68%)

推奨上質紙：コニカミノルタ J ペーパー (坪量 68g/m²、白色度 80%)

自動両面機能

本製品は両面印刷機能を標準搭載しており、自動で用紙の両面に印刷が可能です。この機能を使用することで用紙の使用量を削減でき、貴重な環境資源の保全に貢献します。

エコマークについて

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。



エコマーク認定番号 第14 155 001号

bizhub C3851 は、「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

1.2 安全にご使用いただくために

製品を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置および日常の取扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。製品の電源を入れる前に必ずお読みください。

重要

本書はいつでも見られる場所に大切に保管ください。

本書内に書かれている注意事項についても必ずお守りください。

KMI_Ver. 03_J

※ ご購入いただいた製品によってはこの項の内容と、一部合致しないものもありますが、ご了承ください。

絵表示の意味

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

絵表示	説明
	誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
	誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。

おもな図記号の例として以下のものがあります。

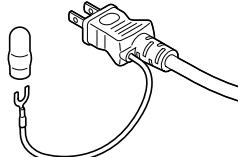
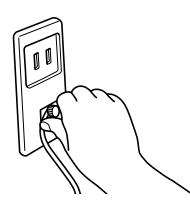
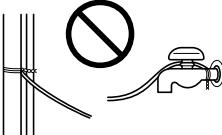
図記号	説明	図記号	説明	図記号	説明
	禁止		分解禁止		接触禁止
	指示		アース（接地）		電源プラグを抜く
	注意		高温注意		感電注意

電源接続について



内容	図記号
<p>製品に付いている、または、同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。販売国により同梱されている電源コードが使用できない場合は、以下条件を満たした電源コードを選択するか、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンター、サービス実施店にご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電源コードは、電圧と電流の定格をこの製品の定格銘版に適する。 ・ 電源コードは、地域の規定要求に適合する。 ・ 電源コードは、アースピン / 端子がある。 	

内容	図記号
この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。	
電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、踏みつけたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線など）を使用すると火災のおそれがあります。	
製品に表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。	
タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。	
延長コードは使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。同梱されている電源コードでコンセントに届かない場合は、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンター、サービス実施店にご相談ください。	
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。	
電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。	

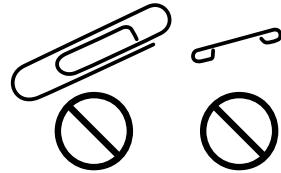
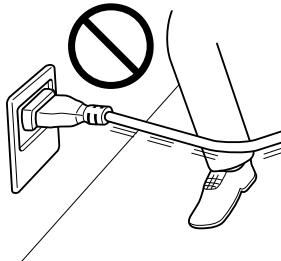
内容	図記号
<p>アース（接地）されたコンセントに接続してください。或いは必ずアース（接地）接続を行ってください。アース（接地）接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。</p> <p>アース（接地）接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース（接地）接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。なお、アース（接地）接続できない場合は、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンター、サービス実施店にお問い合わせください。</p> <p>アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンセントのアース端子 ・ 接地工事を施してある接地端子（第D種） <p>次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガス管（ガス爆発の原因になります） ・ 電話線用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります） ・ 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります） 	   

⚠ 注意

内容	図記号
コンセントはできるだけ製品のそばにあるものを利用し、そのコンセントに容易に近づけるようにしてください。火災、感電のおそれがあります。非常時に電源プラグを抜けなくなります。	
電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。	
プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	
電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。	

設置について

⚠ 警告

内容	図記号
包装材のポリ袋は幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息するおそれがあります。	 
本製品の上に水などの入った花瓶などの容器や、クリップなどの小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体などの異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンター、サービス実施店にご連絡ください。	 
電源コードの上を人が踏んで歩いたり、足でひっかけたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。	

⚠ 注意

内容	図記号
<固定脚を使用するよう指示がある場合> 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	
本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	
本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。	
本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。	

内容	図記号
本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	
本製品を移動する際は必ずユーザーズガイドなどで指定された場所を持って移動してください。記載されている場所以外を持って製品を移動させると製品が落下するなど、けがの原因となります。	

本機の使用に際して



内容	図記号
本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。	
本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。	
本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンター、サービス実施店にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。	
本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンター、サービス実施店にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。	
本製品の周囲や内部に引火性／可燃性のスプレーや液体、ガスなどを使用しないでください。また、引火性／可燃性のダストスプレーを使って、機内清掃は行わないでください。火災や爆発の原因となります。	
<機内近接通信を目的としたRFIDモジュール(13.56MHzに限る)を使用している場合、或いは電磁誘導加熱(IH)技術(20.05kHz～100kHzに限る)を使用している場合> 本製品から微弱な電磁波が出ています。 植込み型医療機器(心臓ペースメーカーなど)をご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。 本製品が上記に該当するか不明の場合は、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンター、サービス実施店にお問い合わせください。	
<非接触ICカードリーダを使用している場合> 植込み型医療機器(心臓ペースメーカーなど)の装着者は、装着部位をICカードリーダの12cm以内に近づけないでください。 電波により植込み型医療機器の動作に影響を与えることがあります。	

! 注意

内容	図記号
換気の悪い部屋で、長時間にわたる使用や大量にコピー／プリントをする場合には、排気臭が気になることがありますので、十分に換気を行ってください。	
本製品の内部には、高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。やけどの原因となります。	
連休などで本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	
ご使用の際は、ランプの光を見続けないでください。目の疲れの原因となることがあります。	
ステープル針のついた用紙、導電性の用紙（銀紙／カーボン含有紙など）、表面が加工された感熱紙／インクジェット用紙などは使用しないでください。火災の原因となることがあります。	

消耗品について

! 警告

内容	図記号
トナーまたはトナーの入った容器（トナーカートリッジ、現像ユニットや廃棄トナーボックスなど）を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。	

! 注意

内容	図記号
トナーの入った容器（トナーカートリッジ、現像ユニットや廃棄トナーボックスなど）を子供の手の届くところに放置しないでください。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。	
トナーの入った容器（トナーカートリッジ、現像ユニットや廃棄トナーボックスなど）は、精密機器や記憶媒体などの磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。	

内容	図記号
トナーの入った容器（トナーカートリッジ、現像ユニットや廃棄トナーボックスなど）は、無理に開けたりしないでください。トナーが漏出した場合には、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。	
トナーが服や手についた場合には、石鹼を使って水でよく洗流してください。	
トナーを吸入した場合には、新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状ができるようであれば、医師の診察を受けてください。	
トナーが目に入った場合には、ただちに流水で15分以上洗流してください。刺激が残るようであれば、医師の診察を受けてください。	
トナーを飲んだ場合には、口の中をよくすすぎ、コップ1、2杯の水をお飲みください。必要に応じて医師の診察を受けてください。	
銅製の端子がついたユニット（トナーカートリッジや現像ユニットなど）の端子に触れないでください。静電気により製品が故障するおそれがあります。	
ご使用の際は、マニュアルをよくお読みのうえ正しくお使いください。	
<定着ユニットの交換指示がある場合> 定着部は非常に高温になっています。定着ユニットは、電源を切ったあと、各ドアやカバーを開いた状態で指定時間以上放置し、定着部が室温になってから交換してください。やけどの原因となります。	

1.3 適合宣言文

レーザーの安全性

本機は、レーザーを使用するデジタル機器です。ユーザーズガイドに記載している指示事項を守って動作させる限り、レーザーの危険にさらされることはありません。

レーザー光放射は、保護カバーの中に完全に遮蔽されていますので、ユーザー使用のどの段階においても、レーザー光が機外に漏れ出すことはありません。

本機はクラス 1 レーザー製品 (IEC60825-1: 2014) として認定されています。従って、本機が危険なレーザー放射を発生させることは 없습니다。

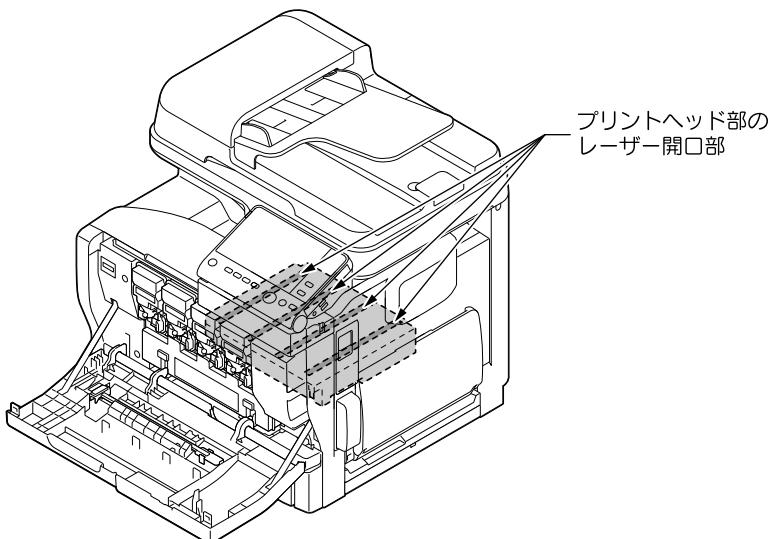
内部レーザー放射

最大平均放射パワー：プリントヘッドの開口部で $11.2 \mu\text{W}$

波長：770 ~ 800 nm

本機は、Class 3B のレーザーダイオードを使用し、不可視のレーザー光を放射します。

プリントヘッド部には、このレーザーダイオードと読み取り用ポリゴンミラーが組み込まれています。プリントヘッド部は市場保守調整品目ではありません。したがって、プリントヘッド部は、どのような状況でも開けないでください。

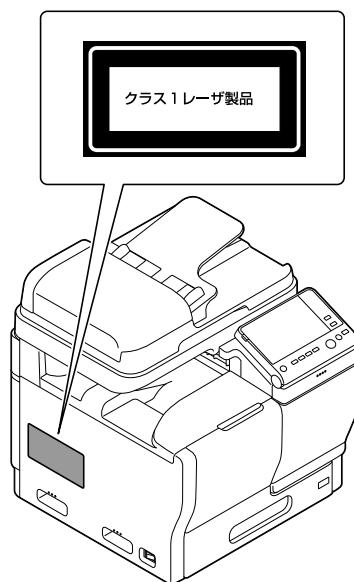


⚠ 警告

- ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらす恐れがあります。
- これは半導体レーザーです。このレーザーダイオードの最大出力は 22 mW で波長は 770 - 800 nm です。

レーザー安全ラベル

下図に示すように、レーザー安全ラベルが本機の外側に貼り付けられています。



オゾン放出

本機の使用中は少量のオゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量に印刷を行ったりする場合には臭気が気になることがあります。快適な環境を保つために、定期的な部屋の換気をお勧めします。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

この装置は、シールドタイプのインターフェースケーブルを使用して下さい。ノンシールドケーブルを使用するとラジオやテレビジョン受信機の受信障害を引き起こすことがあります、VCCI で禁止されています。

USB Host

USB Host には USB 機器（メモリー、認証装置、ハブ等）を直接差し込んでください。

延長ケーブルを使用した場合、電波障害を引き起こすことがあります。

高調波電流について

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

2 次電池（充電式リチウム電池）の使用について

本機では、2 次電池は一切使用しておりません。

物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよびTVOC の放散については、エコマーク No.155 「複写機・プリンタなどの画像機器」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております純正品を使用し、複写を行った場合について、試験方法：RAL UZ-171 の付録 S-M に基づき試験を実施しました。）

エネルギー消費効率について

TEC 値^{*} : 2.1 kwh/ 週

* 国際エネルギー・スタープログラムに基づく消費電力

エネルギー消費効率^{*} : 107 kWh/ 年

区分 : a

* 省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた測定方法による数値

装置に使用される図記号について

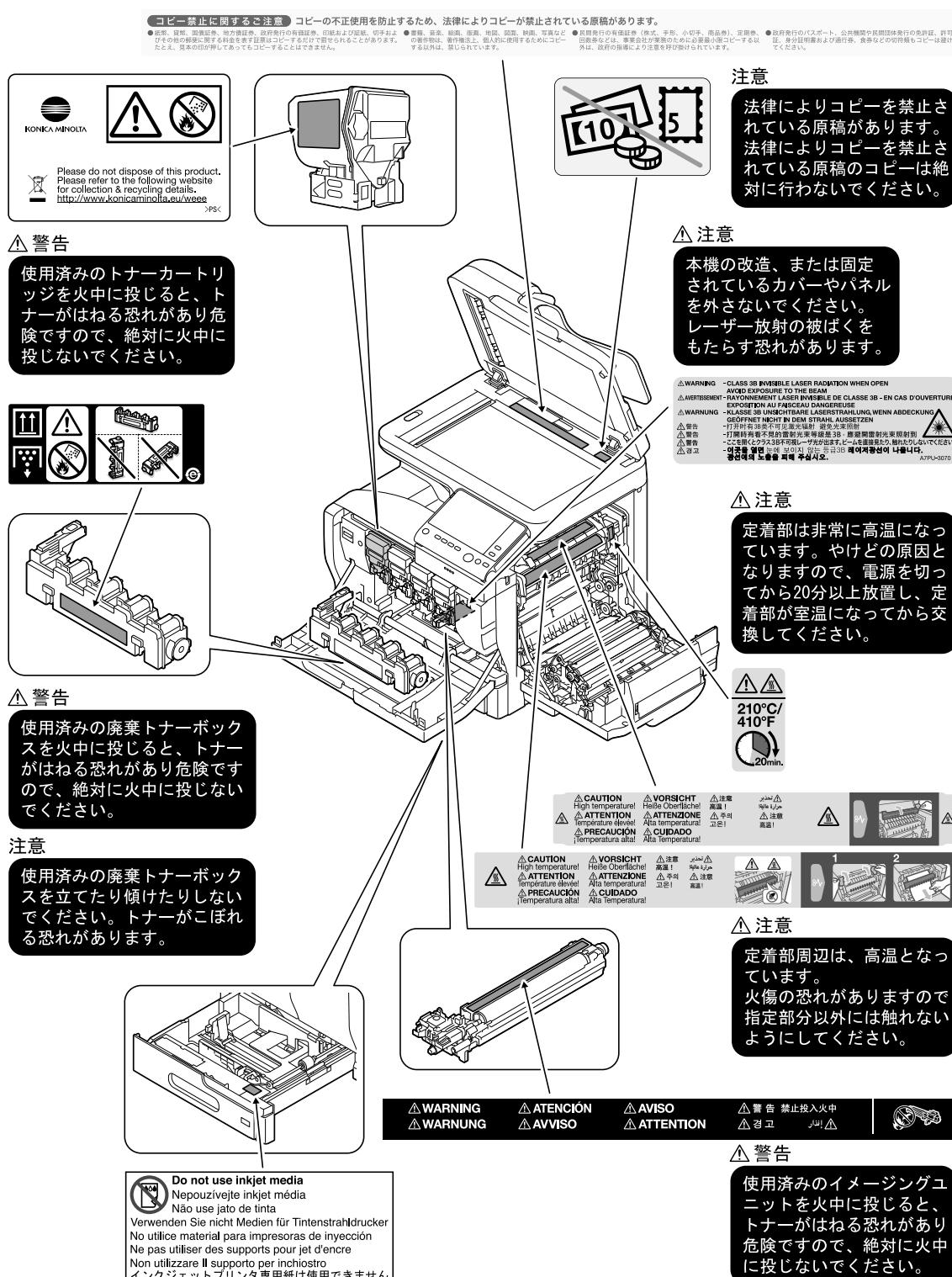
おもな図記号の例として以下のものがあります。

図記号	説明	図記号	説明	図記号	説明
	スイッチの「ON」	○	スイッチの「OFF」	○	待機状態
○	プッシュボタンスイッチ	⊥	アース（保護ボンディング端子）	○⊥	アース（保護接地）
□	2重絶縁構造 クラス II 機器	□○	クラス II 機器 機能アース（接地）		機能アース（接地）
!	一般注意 一般指示	△	高温注意	△	感電注意
△	ファンの羽根に対する警告	△ N	中性線ヒューズ 使用注意		

1.4 注意表記・注意ラベル

本機には以下に示す位置に安全に関する注意表記や注意ラベルがあります。

紙づまり処理時などに事故のないようご注意ください。



▲ 注意

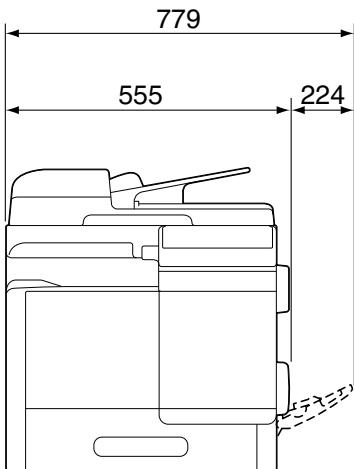
- これらの注意表記・注意ラベルを見ずに触ると、感電や火傷など思わぬ事故になることがあります。注意ラベルは、はがさないようにしてください。また、注意ラベルがはがれたり、汚れで見えない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

1.5 設置スペース

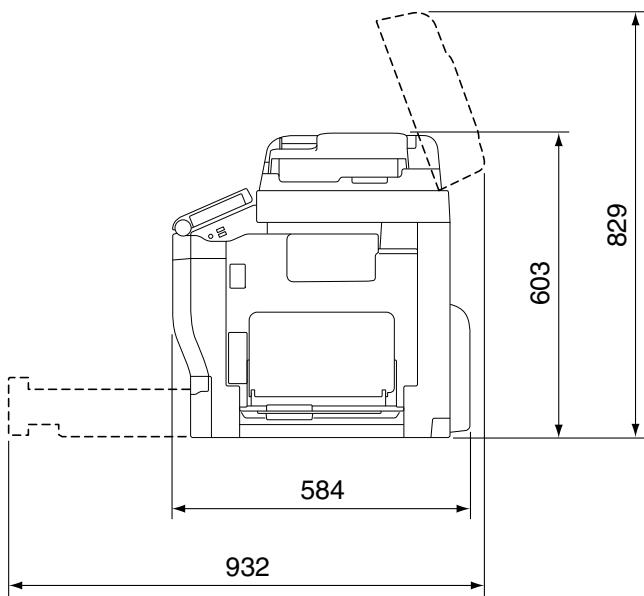
プリント操作、消耗品の補給、交換、定期点検が容易に行えるように、十分な設置スペースを確保してください。

単位：mm

正面図

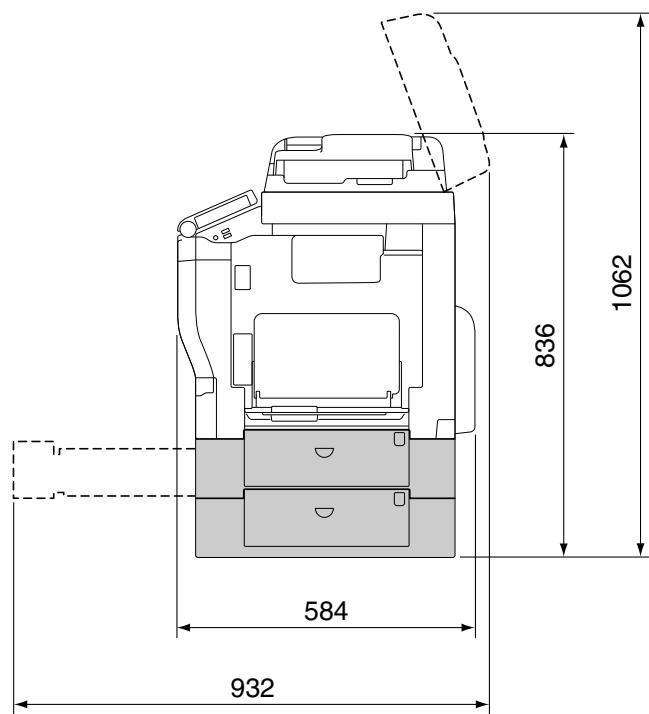


右側面図



右側面図（オプション装着時）

イラストの網掛け部はオプションです。



重要

特性音響レベル L_{wad} が 63db を超える画像機器の場合、オフィス環境により動作音が気になる場合があります。

動作音が気になる場合は、機器近傍にパーテーションを設置したり、機器を離れた場所や別室に設置する対応を推奨します。

1.6 使用上のご注意

本機を最良の状態でご使用いただくために、次の点にご注意ください。

設置電源

設置電源には以下の条件の電源を使用してください。

- 使用する電源は、電圧および周波数の変動が少ないものを使用してください。
- 電圧変動率：AC 100 V ± 10% 以内
- 周波数変動：50 Hz/60 Hz ± 3 Hz 以内

使用環境

いつも良い条件でご使用いただける環境の範囲は、以下の条件です。

- 気温 10 °C ~ 30 °C 温度変化率 10 °C /h
- 湿度 15% ~ 85% 湿度変化率 10%/h

コピーの保存について

コピーの保存について、次の点にご注意ください。

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- コピーされたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けことがあります。
- 通常の白黒コピーに比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれことがあります。

トナーカートリッジの取り扱いについて

トナーカートリッジを取り扱う場合、以下の項目をよく読み取り扱いには十分に注意してください。

- トナーカートリッジは、無理に開けたりしないでください。
トナーが漏れ出した場合には、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。
- トナーが服や手に付いた場合
石鹼を使って水で良く洗い流してください。
- トナーを吸入した場合
新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。
咳などの症状ができるようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーが目に入った場合
直ちに流水で 15 分以上よく洗い流し、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合
口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水をお飲みください。必要に応じて医師の診察を受けてください。
- トナーカートリッジは、幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス・家庭環境が保てない原因となります。また、印刷動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

本機内部の保存データについて

本機に HDD が装着されている場合、本機の譲渡、廃棄またはリース返却時、情報の漏洩を防止するため、[全領域上書き削除] 機能を実行することをおすすめします。

[全領域上書き削除] 機能を実行すると、HDD 全領域に保存されているすべてのデータの上書き削除に加え、不揮発メモリに保存されたすべてのパスワードを出荷時設定に戻すため、情報の漏洩を防止できます。

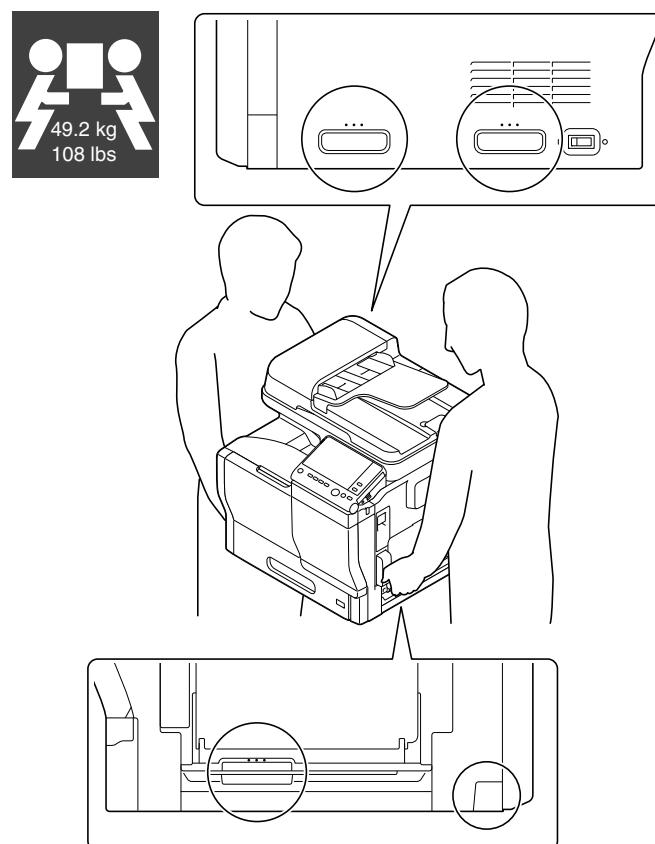
[全領域上書き削除] 機能について詳しくは、「ユーザーズガイド」をごらんください。

また、[全領域上書き削除] 機能を実行する場合は、サービス実施店にご連絡ください。

万が一 HDD が故障したときに備え、定期的に HDD のバックアップをとっておくことをお勧めします。
HDD のバックアップについて詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

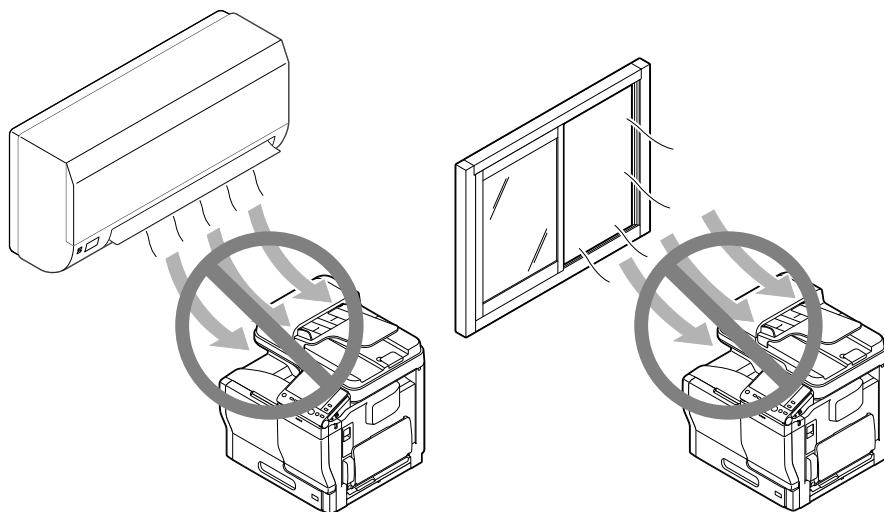
運搬時のご注意

本機は消耗品を含めて約 49.2 kg の重量があります。本機を持ち上げる場合は、必ず 2 人で行ってください。



製品に風をあてないでください

正常に動作しない場合があります。



機械・消耗品のリサイクル／リユース

弊社の環境基準に従い回収された機械やカートリッジなどは、リサイクル、リユースされています。今後も資源の保護に取り組み、人と環境に調和した活動を行ってまいります。

使用済みのボトル、カートリッジ、ユニット、感光体は、再使用、マテリアルリサイクル、再資源化など適正に処理するため、回収にはご協力を御願い致します。

使用済みのボトル・カートリッジ・ユニット

- 使用済みのボトル、カートリッジ、ユニットは、サービスエンジニアが回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。
回収したボトル、カートリッジ、ユニットは、再資源化しています。

機械の廃棄について

- 機械を廃棄するときは、サービス実施店もしくは、最寄りの販売店にご連絡ください。機械を直接お引取りするか、または指定のお引取り場所をお知らせします。
回収した機械は、再資源化しています。

2次電池（充電式リチウム電池）の使用について

- 本機では、2次電池は一切使用しておりません。

保守サービス

本機には以下の保守サービスシステムがあります。

- コピーチャージシステム
 - 機械を安定した状態でお使いいただくための保守サービスをご提供し、ユニットをお貸しいたします。専門のサービスエンジニアを派遣し、点検、整備及び部品交換を行います。
その対価としてコピーチャージ料金を申し受けるシステムです。
- スポットシステム
 - 機械の保守サービスと、ユニット、トナー、部品その他関連商品の供給をお客様のご要請の都度、有料でお引き受けするシステムです。
尚、保守サービスの為に必要な補修用性能部品（機械の性能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は該当製品の製造中止後7年間です。

1.7 複製禁止事項

本機でなにを複製してもよいわけではありません。

とくに法律によって、その複製をとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

法律により複製を禁止されているもの

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券

外国紙幣、証券類

未使用郵便切手、はがき類

政府発行の印紙、税法で規定されている証券類

<関係法律>

- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ關スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

重要

法律で禁止されている紙幣などの複製を防止するため、本機には偽造防止機能を搭載しています。本機は偽造防止機能を搭載しているため、画像に若干のノイズが入ったり、画像データの保存が禁止されたりすることがあります。ご了承ください。

著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いて複製は禁止されています。

注意を必要とするもの

政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手に複製しないほうがよいと考えられます。

民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数を複製する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

1.8 商標について

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、Giving Shape to Ideas、PageScope、bizhub は、コニカミノルタ株式会社の登録商標または商標です。

Mozilla および Firefox は Mozilla Foundation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

PowerPC は、IBM Corporation の商標です。

Citrix®、XenApp®、XenDesktop®、XenServer® は、Citrix Systems, Inc. および／またはその一もしくは複数の子会社の商標であり、米国特許商標局および他国で登録されている場合があります。

Apple、Safari、iPad、iPhone、iPod touch、Macintosh、Mac OS、OS X、macOS および Bonjour は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。AirPrint および AirPrint のロゴは、Apple Inc. の商標です。

Apple, Safari, iPad, iPhone, iPod touch, Macintosh, Mac OS, OS X, macOS and Bonjour are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. AirPrint and the AirPrint logo are trademarks of Apple Inc.



CUPS、CUPS ロゴは、Apple Inc. の商標です。

Google、Google Chrome、Android、Google Cloud Print は、Google Inc. の登録商標または商標です。

Mopria®、Mopria® ロゴ、Mopria® Alliance ロゴは、Mopria Alliance, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。許可なく使用することはできません。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat および PostScript は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

This [Sublicensee Product] contains Adobe® Reader® LE software under license from Adobe Systems Incorporated. Copyright © 1995-2009 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe and Reader are trademarks of Adobe Systems Incorporated.

Ethernet は、Xerox Corporation の登録商標です。

PCL は、米国 Hewlett-Packard Company Limited の登録商標です。

This machine and PageScope Box Operator are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

Compact-VJE

Copyright 1986-2009 Yahoo Japan Corp.

RC4® is a registered trademark or trademark of EMC Corporation in the United States and/or other countries.

RSA BSAFE®

RSA および BSAFE® は米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。



ライセンス情報

本製品は、米国 EMC コーポレーションの RSA BSAFE® ソフトウェアを搭載しています。

Advanced Wnn
Advanced Wnn は、オムロンソフトウェア株式会社の商標です。



ABBYY and FineReader are registered trade marks of ABBYY Software House.
ThinPrint は、Cortado AG のドイツ及びその他の国における商標または登録商標です。
QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
Wi-Fi、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Alliance、Wi-Fi Direct、Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Protected Setup ロゴ、WPA および WPA2 は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。



FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
MIFARE は、NXP Semiconductors の登録商標です。
Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

Copyright

プリンタードライバーの著作権は、コニカミノルタ株式会社にあります。
© 2016 KONICA MINOLTA, INC. All Rights Reserved.

免責

ユーザーズガイドの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
コニカミノルタ株式会社は、本プリントイングシステムおよびユーザーズガイドを運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
ユーザーズガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。

1.9 ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタ株式会社（以下、「KM」）より提供される、プリンターシステムの一部を構成するソフトウェア（以下、「プリントティングソフトウェア」）、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリントティングソフトウェアと連動しコンピューターシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリントティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスをKMにより付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記1.に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリントティングソフトウェアを使用するコンピューターにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピューターにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリントティングソフトウェアが実行されているプリントティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピューターにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンサーとしての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人に本ソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様は本ソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべてKMおよびそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行にしたがって使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、すべての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMおよびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMおよびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第3者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users(本規定に関して : 本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。)The Software is a "commercial item," as that term is defined at 48 C.F.R. 2.101, consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

1.10 i-Option LK-105 v4(サーチャブル PDF) エンドユーザー ライセンス契約書

コニカミノルタ株式会社（以下、「KM」）は、お客様による i-Option LK-105 v4(サーチャブル PDF。以下、「本プログラム」)のライセンスキーの購入に基づき、また、お客様が本契約のすべての条項を遵守頂くことを条件として、お客様に対し本プログラムを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを付与いたします。

1. お客様は、本プログラムの複製、変更、改作はできません。また、本プログラムを第三者に使用させ、譲渡することはできません。
2. お客様は、本プログラムの改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルを行うことはできません。
3. 本プログラムの著作権およびその他の知的財産権は、KM またはそのライセンサーが有し、本プログラムを使用するライセンスの付与によって著作権およびその他の知的財産権までがお客様に移転するものではありません。
4. KM およびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本プログラムの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KM およびそのライセンサーは、本プログラムの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付隨的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
5. 本プログラムをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。
6. Notice to Government End Users(本規定に関して : 本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。)The Program is a "commercial item," as that term is defined at 48 C.F.R. 2.101, consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Program with only those rights set forth herein.
7. お客様が本契約の内容に違反した場合、本プログラムのライセンスは自動的に終了します。その場合、お客様は、本プログラムの使用をすぐに中止しなければなりません。
8. 本契約は日本国法に準拠するものとします。

2 マニュアルについて

2 マニュアルについて

2.1 本機の使用目的について

使用目的

本機には、複数のオフィス機器の機能が組込まれています。本機は、次の目的のためのオフィスシステムとして使用されるよう設計されています。

- 文書の印刷、コピー、スキャン、およびファクス
- 両面印刷、ステープル、パンチ、小冊子作成のような仕上げ機能の使用（対応するオプションが装着されている場合）
- スキャンした文書のUSBメモリーへの保存、FTPやWebDAV、E-mailのようなネットワークスキャン宛先への送信

本機をお使いの際は、次の事項を順守してください。

- 本体やオプションの仕様の範囲内で使用すること
- ユーザーズガイドに記載されている安全にお使いいただくためのすべての注意文を順守すること
- コピー禁止事項（1-20ページ）を順守すること
- 点検およびメンテナンス指示を忠実に実行すること
- 一般、国家、および企業の安全規定を順守すること

許容できない操作条件

以下の場合、本機は動作しないことがあります。

- エラーまたはダメージが発見された場合
- メンテナンス間隔が超過している場合
- 機械的機能または電気的機能が正常にはたらかない場合

免責

本機が許容できない条件のもとで操作された場合、弊社はダメージについて一切の責任を負いません。

2.2 ユーザーズガイドの構成

本製品のユーザーズガイドは、本書とユーザーズガイド CD という構成になっています。

本書では、本機の基本的な使い方や初期設定の方法を紹介しています。

詳しい機能や、操作方法をお知りになりたいときは、ユーザーズガイド CD に収められているユーザーズガイドをごらんください。

本書には、本機をお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しております。ご使用の前に本書 1 章「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

名称	概要
すぐに使える簡単設定ガイド	<p>本製品の基本的な使い方と設定方法を記載しております。また、本製品を安全にご利用いただくために守っていただきたい注意事項とお願いも記載しておりますので、必ずお読みください。</p> 
ユーザーズガイド CD	本製品の基本的な機能から、より詳しい機能の操作方法や各設定機能について説明しております。

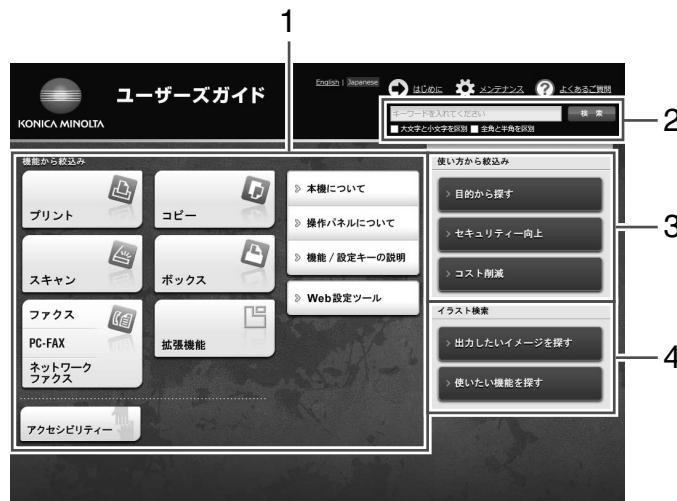
2.2.1 ユーザーズガイド CD

ユーザーズガイド CD は本機に同梱されています。

トップページ（ホーム）から、ごらんになりたい機能を選んで、詳しい内容を確認してください。

トップページ（ホーム）の〔はじめに〕を選ぶと、ユーザーズガイドの詳しい使い方をごらんいただけます。

トップページの構成



No.	名前	説明
1	[機能から絞込み]	プリントやスキャンなどの機能や、タッチパネルに表示されるボタンから、知りたい情報をします。
2	[検索]	1つまたは複数のキーワードを入力し、ユーザーズガイド内を検索できます。必要に応じて、大文字と小文字、全角と半角を区別して検索することもできます。(一部のページは検索対象外となります。)
3	[使い方から絞込み]	「～したい」という発想で、本機の使い方を検索します。また、様々な場面でのセキュリティ対策やコスト削減の方法をご提案します。
4	[イラスト検索]	出力結果、機能、利用シーンのイメージから、本機の使い方を検索します。

動作環境

項目	仕様
対応 OS	Windows 7 (SP1)、Windows 8.1、Windows 10 Mac OS 10.8/10.9/10.10/10.11/10.12
対応ブラウザー	Windows: Microsoft Internet Explorer 9.x/10.x (デスクトップ版)/11.x (デスクトップ版)、Microsoft Edge、Firefox 20 以降、Google Chrome 26 以降 Mac OS: Safari 6.0.3 ~ 10.x <ul style="list-style-type: none"> ・ より快適なご利用のために、お使いのOSに対応する、最新のブラウザーをお使いいただくことをおすすめします。 ・ お使いのブラウザーのJavaScriptが有効になっていることを確認してください。ユーザーズガイドは、画面表示や検索機能でJavaScriptを使用しています。
ディスプレイの解像度	1024 × 768 ピクセル以上

トップページの表示のしかた

Windows の場合

- コンピューターのCD-ROMドライブにユーザーズガイドCDを入れると自動再生に関するメッセージが表示されます。[rundll32.exe の実行] をクリックすると、トップページが表示されます。
- トップページが表示されない場合は、[コンピューター] または [コンピューター] から [Users_Guide_CD] アイコンを右クリックし、[開く] をクリックします。フォルダ内の [index.html] をダブルクリックすると、トップページが表示されます。

Macintosh の場合

- デスクトップ上の CD アイコン、[index.html] の順にダブルクリックするとトップページが表示されます。

2.2.2 本機の使用者について

ユーザーズガイド(2-3ページ参照)は、本機の以下の使用者を対象としています。

使用者	説明
ユーザー	使用目的(2-2ページ参照)のために本機を使用し、割当てられたユーザーの権利に従って、本機の機能や消耗品の管理をする人。
管理者	消耗品やシステム機能、ユーザー、アクセス権を管理したり、システム設定やネットワーク接続の設定をしたりする人。

本機を使用するすべての人は、関連したユーザーズガイドを読み、内容を理解してください。

2.2.3 本文中の表記や記号について

手順文について

- ✓ 手順の前提となる条件を説明しています。
- 1 このスタイルの「1」は、最初の手順を表します。
- 2 このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。
- 手順文の補足的な説明を表します。



本文中の記号について

本文中の表記	説明
警告	誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるものを示しています。
注意	誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくものを示しています。
重要	本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。 物的損害を避けるために指示に従ってください。
参考	トピックを補足する情報や、機能を使うために必要なオプションについて説明しています。
参照	トピックに関連した機能を参照できます。
関連設定	トピックに関連したどなたでも変更できる設定を紹介しています。

本文中の表記	説明
 関連設定（管理者向け）	トピックに関連した管理者向けの設定を紹介しています。
✓	手順の前提となる条件を説明しています。
→	手順文の補足的な説明を表します。
[]	タッチパネルのキー名称、コンピューター画面上のキー名称、ユーザーズガイド名称などを表します。
太字	操作パネルのキー名称、部品名称、製品名称、オプション名称などを表します。

アプリケーションの名称と表記について

本書では、各アプリケーションの名称を以下のように表記しています。

名称	本書の表記
PageScope Web Connection	Web Connection

3

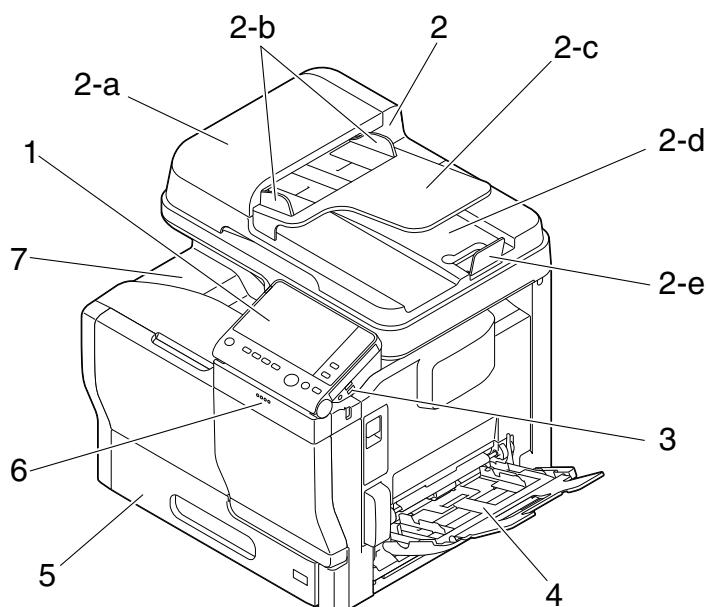
本機の概要

3 本機の概要

3.1 本機について

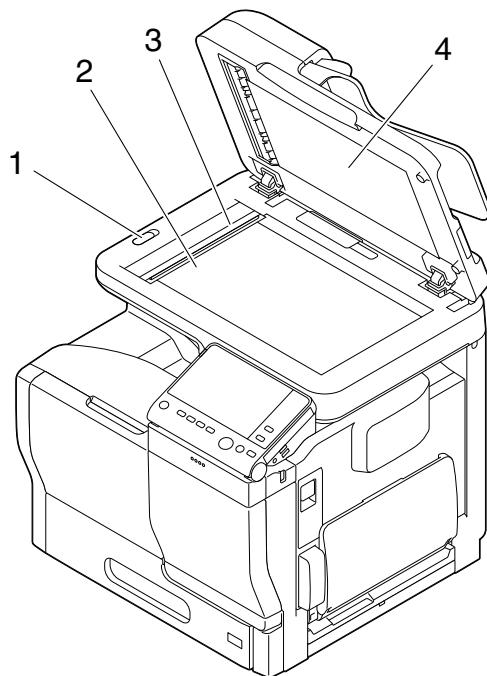
3.1.1 各部の名前

前面



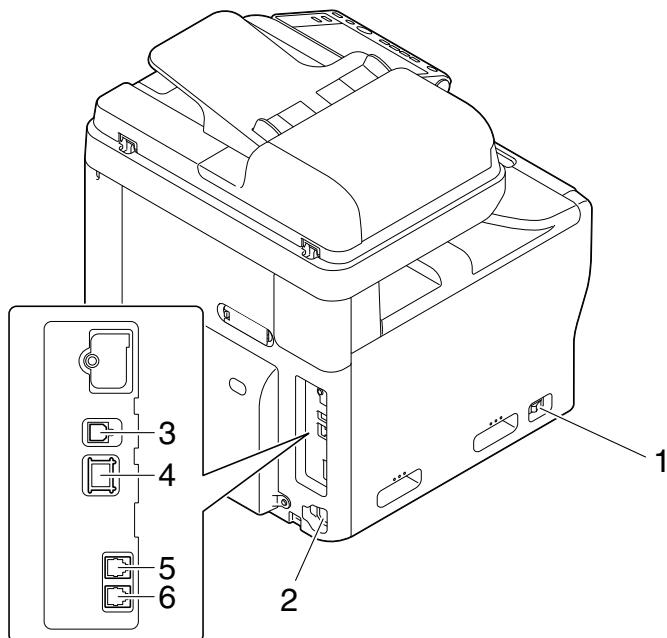
No.	名前	説明
1	操作パネル	本機での各種設定を行います。
2	自動原稿送り装置	原稿を自動的に1枚ずつ送り出して読み込むことができます。両面原稿も自動的に反転して読み込みます。 本文中ではADFと呼びます。
2-a	ADFカバー	ADFの紙づまりを処理するときに開きます。
2-b	ガイド板	原稿の幅に合わせて調整します。
2-c	原稿給紙トレイ	原稿を上向きにセットします。
2-d	原稿排紙トレイ	読み込みの終わった原稿が排紙トレイの上に排紙されます。
2-e	原稿ストッパー	排紙された原稿が落ちるのを防ぎます。
3	USBポート(タイプA)USB2.0/1.1	外部メモリー(USBメモリー)を接続するときに使用します。
4	手差しトレイ	給紙トレイにセットされていないサイズの用紙や封筒に印刷するときに使用します。 セットできる用紙について詳しくは、ユーザーズガイドCDの[はじめに]をごらんください。
5	トレイ1	550枚までの用紙をセットできます。 セットできる用紙について詳しくは、ユーザーズガイドCDの[はじめに]をごらんください。
6	データランプ	本機でのデータの受信状況を、LEDランプの点滅／点灯でお知らせします。 詳しくは、ユーザーズガイドCDの[本機について]をごらんください。
7	排紙トレイ	印刷された用紙が排紙されます。

前面：自動原稿送り装置を開いた状態



No.	名前	説明
1	スキャナーロックレー バー	スキャナーのロック／ロック解除を行います。 本機を使用するときはスキャナーのロックを解除します。
2	原稿ガラス	原稿をセットするためのガラスです。
3	スリットガラス	ADF 使用時にこの部分で原稿の画像を読み取ります。 本文中ではスリットガラスまたは原稿読み取りガラスと呼びます。
4	原稿カバーパッド	セットした原稿が動かないように押さえます。

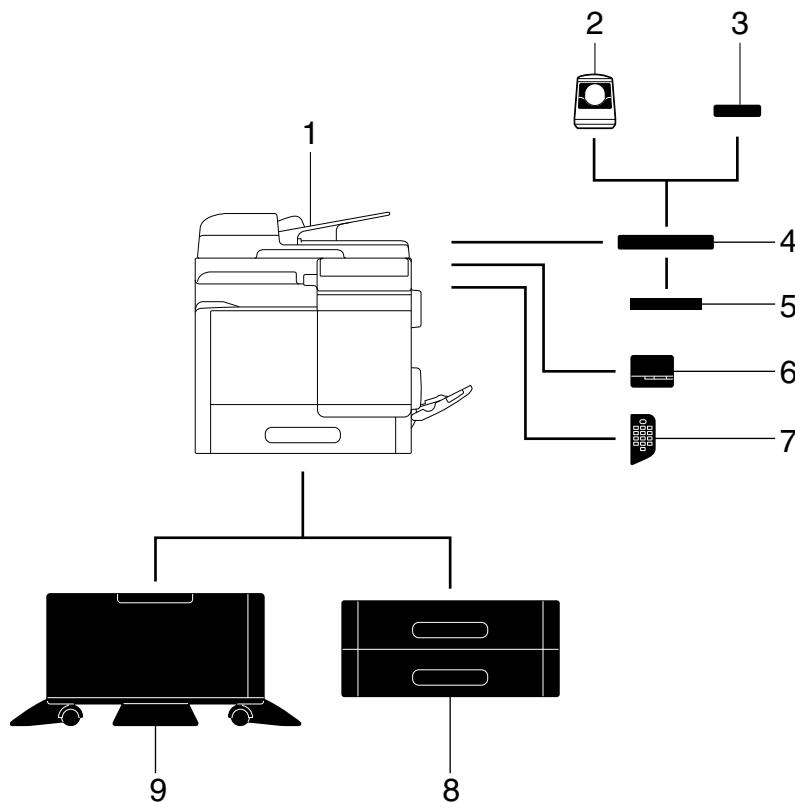
側面／背面



No.	名前	説明
1	電源スイッチ	本体の電源を ON/OFF します。
2	電源インレット	電源コードを接続し、本機に電源を供給します。
3	USB ポート (タイプ B)	USB 接続のプリンターとして使うときに接続します。
4	Ethernet (LAN) ポート (1000Base-T/100Base-TX/10Base-T)	本機をネットワークプリンター、ネットワークスキャナーとして使うときにネットワークケーブルを接続します。
5	回線コネクター (LINE)	一般加入電話回線を接続するときに使います。
6	外付け電話機接続用コネクター (TEL)	外付け電話機のコードを接続します。

3.1.2 オプションの構成

オプション構成一覧



No.	名前	説明
1	本体部	スキャナー部で原稿を読み込み、読み取った画像をプリンター部で印刷できます。
2	認証装置 AU-102	指静脈パターンを読み取ってユーザー認証を行うことができます。 認証装置 AU-102 を設置するには、ワーキングテーブル WT-P02 に加えて、ローカル接続キット EK-P05 またはローカル接続キット EK-P06 が必要です。
3	認証装置 AU-201S	ICカード/NFC対応Android端末に記録された情報を読み取ってユーザー認証を行うことができます。 認証装置 AU-201S を設置するには、取付けキット MK-P02 に加えて、ローカル接続キット EK-P05 またはローカル接続キット EK-P06 が必要です。 ワーキングテーブル WT-P02 に設置することもできます。
4	ワーキングテーブル WT-P02	原稿などを一時的に置くことができます。また、認証装置 AU-102 または認証装置 AU-201S を設置する場合や、キーボードホルダー KH-P01 を取付ける場合にも使います。
5	キーボードホルダー KH-P01	外付けキーボードを使用する場合に、ワーキングテーブル WT-P02 に取付けます。
6	フィニッシャー FS-P03	印刷した用紙をステープルとじできます。 ステープル針は、ステイプルキット SK-501 を使用します。
7	キーパッド KP-101	操作パネル横に装着します。 ハードウェアのテンキーで数字を入力できます。
8	ペーパーフィーダーユニット PF-P13	500枚までの用紙をセットできます。 2段まで設置できます。
9	専用デスク DK-P03	本機をフロアに設置できます。

その他のオプション構成一覧

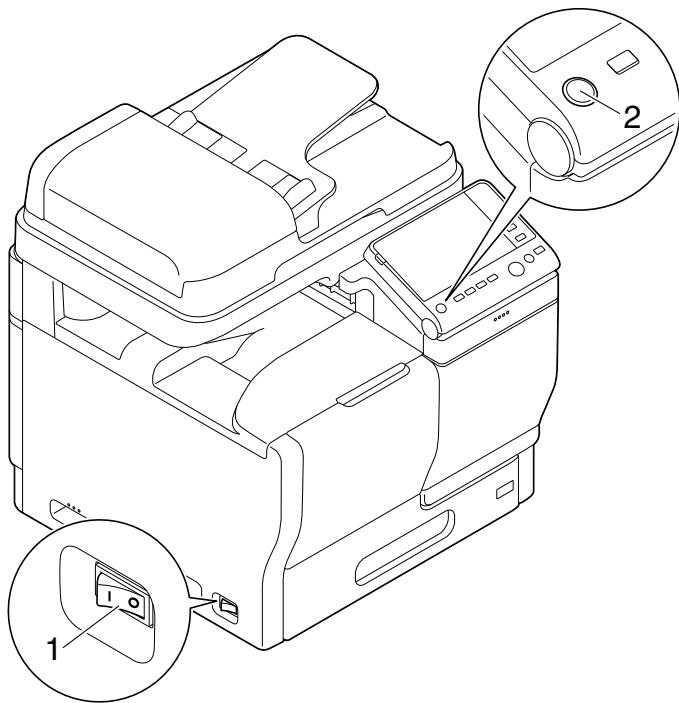
以下のオプションは、本機に内蔵されるため図解してありません。

No.	名前	説明
1	ローカル接続キット EK-P05	音声ガイド機能、認証装置 AU-102、認証装置 AU-201S、アップグレードキット UK-216 を使う場合に装着します。 スピーカーと USB ポートが増設されます。
2	ローカル接続キット EK-P06	音声ガイド機能、認証装置 AU-102、認証装置 AU-201S、アップグレードキット UK-216、Bluetooth LE 対応の iOS 端末との連携機能を使う場合に装着します。 スピーカー、USB ポート、Bluetooth LE 通信用の受信装置が増設されます。
3	ローカル接続キット EK-P07	RS-232C ポートを増設します。
4	i-Option LK-102 v3	拡張機能の一つである、PDF 処理機能が使えます。
5	i-Option LK-104 v3	拡張機能の一つである、音声ガイド機能が使えます。
6	i-Option LK-105 v4	拡張機能の一つである、サーチャブル PDF 機能が使えます。
7	i-Option LK-106	特殊フォントの一つである、バーコードフォントを追加できます。
8	i-Option LK-107	特殊フォントの一つである、ユニコードフォントを追加できます。
9	i-Option LK-108	特殊フォントの一つである、OCR フォントを追加できます。 標準では OCR-B フォント(PostScript)を利用できます。i-Option LK-108 を導入すると OCR-A フォント(PCL)を利用できるようになります。
10	i-Option LK-110 v2	拡張機能として、DOCX、XLSX 形式への変換や、高機能および高画質なデータを生成する機能を追加できます。 i-Option LK-110 v2 は、i-Option LK-102 v3/LK-105 v4 の機能ライセンスも含みます。i-Option LK-110 v2 を購入する場合、i-Option LK-102 v3/LK-105 v4 を購入する必要はありません。 追加できる機能について詳しくは、ユーザーズガイド CD の【拡張機能】をごらんください。
11	i-Option LK-111	拡張機能の一つである、ThinPrint 機能が使えます。
12	i-Option LK-114	拡張機能の一つである、ユビキタスプリント機能が使えます。
13	i-Option LK-115 v2	拡張機能の一つである、TPM(Trusted Platform Module)を利用できます。本機の証明書やパスワードなどの機密情報を TPM で暗号化することで、セキュリティを高められます。
14	アップグレードキット UK-211	<ul style="list-style-type: none"> • i-Option LK-102 v3/LK-104 v3/LK-105 v4 /LK-106/LK-107/LK-108/LK-110 v2/LK-114 を導入する場合に装着します。 • My Panel Manager と連携して My アドレスを使う場合に装着します。 <p>本文中では拡張メモリーと呼びます。</p>
15	アップグレードキット UK-216	無線ネットワーク環境で本機を使用できます。 アップグレードキット UK-216 を装着するには、ローカル接続キット EK-P05 またはローカル接続キット EK-P06 が必要です。
16	取付けキット MK-P02	認証装置 AU-201S を本体に内蔵して使用する場合に装着します。

3.2 電源について

3.2.1 電源スイッチ／電源キーの場所

本機には、本体外部の電源スイッチと操作パネルの電源キーがあります。



No.	名前	説明
1	電源スイッチ	本機の主電源を ON/OFF したり、本機を再起動するときに操作します。
2	電源キー	本機を節電状態に切換えるときに操作します。消費電力を抑え節電効果を得られます。 詳しくは、3-8 ページをごらんください。

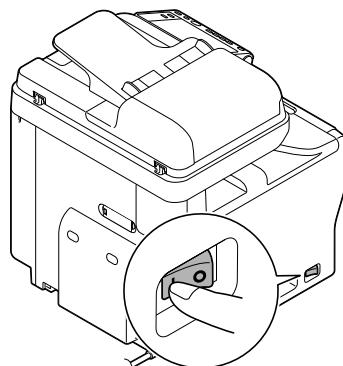
重要

本機で印刷中に電源スイッチを OFF にしたり、電源キーを押さないでください。紙づまりの原因となります。

本機の動作中に電源スイッチを OFF にしたり、電源キーを押したりすると、読み込み中のデータや通信中のデータ、待機中のジョブは削除されます。

3.2.2 電源スイッチを ON/OFF する

- 1 主電源を ON にするときは、電源スイッチの | を押します。



スタートがオレンジ色に点灯し、起動中を表す画面が表示されます。

スタートが青色に点灯したら、本機をお使いいただけます。

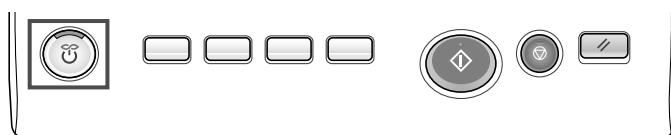
- 2 主電源を OFF にするときは、電源スイッチの ○ を押します。

重要

本機を再起動するときは、電源スイッチを OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

3.2.3 電源キーを使う

電源キーは、本機を節電状態に切換えるときに操作します。



電源キーを押したときに移行する節電状態は、[パワーセーブ] または [副電源 OFF] から選ぶことができます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [電源 / パワーセーブ設定] - [電源キー設定]（初期値：[パワーセーブ]）

パワーセーブキーとしてお使いの場合

電源キーを押したときの、本機の節電状態は次のとおりです。電源キーは押す長さによって、移行する節電状態が異なります。

電源キー	本機の状態	LED の状態	説明
短押し	低電力モード (初期値)	点滅： 青色	タッチパネルの表示を消し、消費電力を抑えます。 タッチパネルを操作したり、データやファクスを受信したりすると、通常モードに復帰します。
	スリープモード	点滅： 青色	低電力モードよりも高い節電効果を得られます。通常モードへ復帰するまでの時間は、低電力モードから復帰するよりも長くなります。 タッチパネルを操作したり、データやファクスを受信したりすると、通常モードに復帰します。
長押し	副電源 OFF	点灯： オレンジ色	節電効果はスリープモードと同じです。 副電源 OFF 状態のとき、データやファクスは受信できますが、原稿の読み込みや印刷はできません。 副電源 OFF 状態のときに受信したデータやファクスは、通常モードに復帰すると印刷されます。 副電源 OFF 状態から本機を通常モードに復帰させるには、もう一度電源キーを押してください。



関連設定（管理者向け）

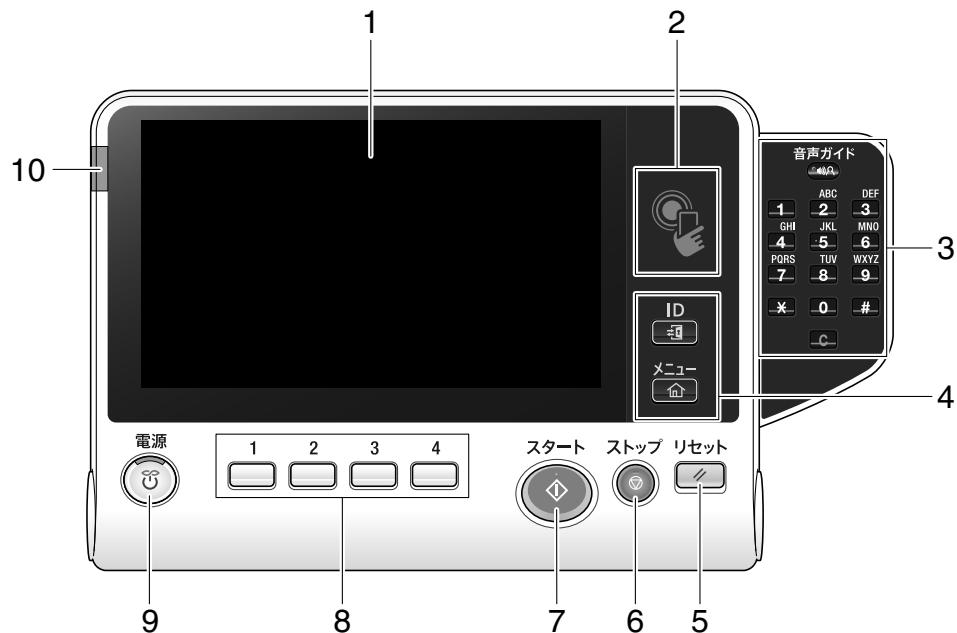
- 電源キーを押したときに、低電力モードとスリープモードのどちらに切換えるかを選べます。
設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [電源 / パワーセーブ設定] - [パワーセーブモード節電切替]（初期値：[低電力]）

副電源 OFF キーとしてお使いの場合

電源キーを押したときの、本機の節電状態は次のとおりです。電源キーは押す長さによって、移行する節電状態が異なります。

電源キー	本機の状態	LED の状態	説明
短押し	副電源 OFF	点灯： オレンジ色	消費電力を抑え、高い節電効果を得られます。 副電源 OFF 状態のとき、データやファクスは受信できますが、原稿の読み込みや印刷はできません。 副電源 OFF 状態のときに受信したデータやファクスは、通常モードに復帰すると印刷されます。 副電源 OFF 状態から本機を通常モードに復帰させるには、もう一度電源キーを押してください。
長押し	ErP オートパワー OFF	点滅： オレンジ色	副電源 OFF 状態よりも高い節電効果を得られ、主電源を OFF にしたときに近い状態となります。 ErP オートパワー OFF 状態のとき、データやファクスの受信や、原稿の読み込み、印刷はできません。 ErP オートパワー OFF 状態から本機を通常モードに復帰させるには、もう一度電源キーを押します。

3.3 操作パネルについて



参考

- 本図はオプションのキーパッド KP-101 を装着しています。

No.	名前	説明
1	タッチパネル	設定画面やメッセージを表示します。 直接タッチして操作します。
2	モバイルタッチエリア	本機と NFC 対応 Android 端末を連携させるときに使用します。 PageScope Mobile for Android をインストールした Android 端末をモバイルタッチエリアにかざすことで、本機の登録やユーザー認証ができます。 また、本機と Bluetooth LE 対応 iOS 端末を連携させるときにも使用します。Bluetooth LE を使うには、オプションのローカル接続キット EK-P06 が必要です。 iOS 端末を本機に近づければ、 PageScope Mobile for iPhone/iPad からの操作で、本機の登録やユーザー認証ができます。 Android/iOS 端末との連携について詳しくは、ユーザーズガイド CD の [Web 設定ツール] をご覧ください。
3	キーパッド KP-101	テンキー：部数や倍率など、数値を入力します。また、番号の付いた設定キーの選択にも使えます。 C(クリア)：テンキーで入力した数値（部数、倍率、サイズなど）をすべて取消します。 音声ガイド：拡張機能の一つである、音声ガイドを利用できます。 拡大表示画面、ユニバーサル設定画面、ガイド画面を表示しているときに、音声による説明を開始／終了します。 <ul style="list-style-type: none"> 音声ガイドの使い方について詳しくは、ユーザーズガイド CD の [拡張機能] をご覧ください。 音声ガイドを使うには、オプションの拡張メモリー、i-Option LK-104 v3 に加えて、ローカル接続キット EK-P05 またはローカル接続キット EK-P06 が必要です。 音声ガイドを長く押すとヘルプメニューを表示できます。

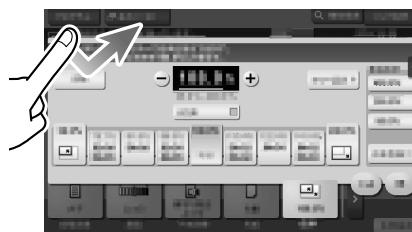
No.	名前	説明
4	ID	本機でユーザー認証や部門管理を導入している場合に、ログイン画面で認証を実施します。 ログインした状態で ID を押すと、ログアウトします。
	メニュー	トップメニューを表示します。 トップメニューには、任意の機能を割当てたショートカットキーを表示し、目的の機能へ素早くアクセスできます。 トップメニューについて詳しくは、3-17 ページをごらんください。
5	リセット	操作パネルで入力／変更した内容を初期状態に戻します。
6	ストップ	コピー、スキャン、印刷中の動作を一時停止します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 再開するときはスタートを押します。 ・ 削除するときは、停止中の画面で削除するジョブを選び、[削除]をタップします。
7	スタート	コピー、スキャン、ファクス、印刷などの動作を開始します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 青色に点灯：本機が動作を開始できる状態 ・ オレンジ色に点灯：本機が動作を開始できない状態 <p>オレンジ色に点灯しているときは、タッチパネルに警告やメッセージが表示されていないか確認してください。</p>
8	1～4	登録キーに割当てられた機能に、タッチパネルの表示を切換えます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期設定では、1：[拡大表示]、2：[ガイド]、3：[10 キー呼び出し]、4：[プレビュー] が割当てられています。 ・ お使いの環境に合わせて、登録キーに割当てる機能を変更できます。詳しくは、ユーザーズガイド CD の [操作パネルについて]をごらんください。
9	電源キー	本機を節電状態に切換えるときに操作します。 電源キーの使い方について詳しくは、3-8 ページをごらんください。
10	警告表示ランプ	本機の状態をランプの色と点滅、点灯で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オレンジ色に点滅：警告中 ・ オレンジ色に点灯：機械停止中

3.4 タッチパネルの操作

タップ

画面を指で軽くタッチし、すぐに離します。

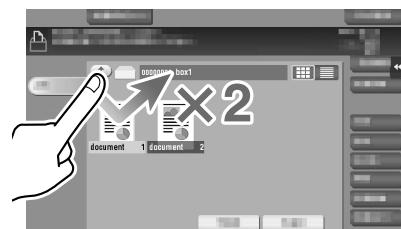
メニューを選んだり、確定したりします。



ダブルタップ

画面を指で軽く2回連続でタッチします。

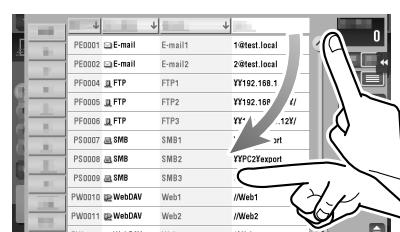
詳細情報の呼出しや、サムネイル画像、プレビュー画像の拡大、ボックスを開くときに使います。



フリック

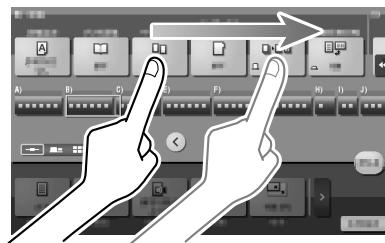
画面上で指を滑らせ、軽くはらいます。

宛先、ジョブリストのスクロール、トップメニュー画面やプレビュー画面のページ送りなどに使います。



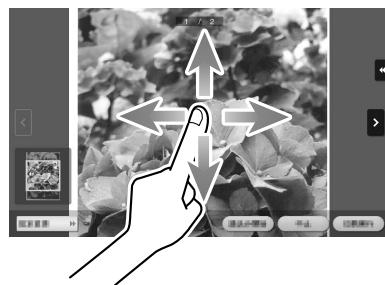
ドラッグ

指でスクロールバーーやドキュメントを押した状態で、指をずらします。
スクロールバーーやドキュメントなどを移動させたいときに使います。



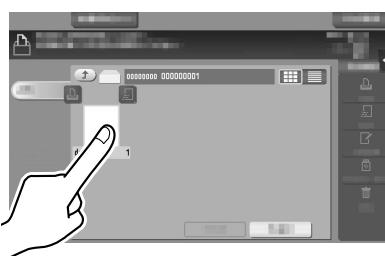
パン

指で画面を押した状態で、指を前後左右に平行移動させます。
1画面で表示できずに部分表示された場合、目的の表示位置に移動させたいときに使います。



ロングタップ

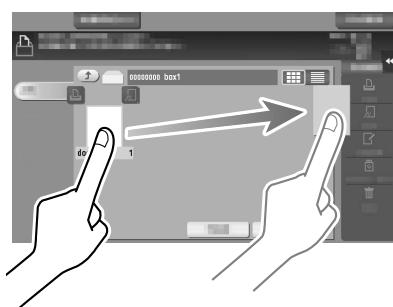
ドキュメントを指で長押しします。
ドキュメントに関するアイコンを表示するときに使います。



ドラッグ＆ドロップ

ドキュメントを選択した状態で、目的の場所へ指をすらし、指をはなします。

ドキュメントを目的の場所へ移動させるときに使います。



ピンチイン／ピンチアウト

2本指で画面を押した状態で、指を開いたり閉じたりします。

プレビュー画像を拡大／縮小させたいときに使います。



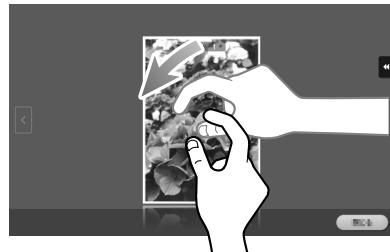
⑥ 関連設定

- 表示ズーム機能が有効の場合、ピンチアウト操作によりパネル表示の全体を200%まで拡大できます。
設定するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [画面カスタマイズ設定] - [アクセシビリティ設定]（初期値：[しない]）

ローテーション

2本指で画面を押した状態で、指を回転します。

プレビュー画像を回転させたいときに使います。



テンキーの表示

画面上の数字または入力エリアをタップするとテンキーを表示します。

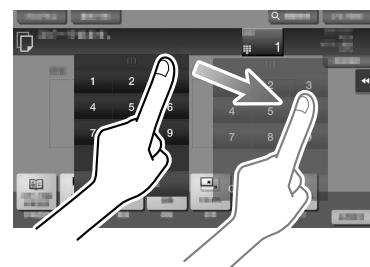
数字を入力するときに使います。



テンキーの移動

テンキー の上部を押した状態で、指をずらします。

テンキーの表示位置を移動させるときに使います。



入力／選択画面の切換え操作

入力エリアまたはアイコンをタップして、入力／選択画面に切換えます。

文字入力や登録内容の選択画面に切換えるときに使います。



タッチパネル使用上のご注意

本機は静電容量方式タッチパネルを採用しております。タッチパネルを操作するときは、次の点にご注意ください。

- 指または市販のスタイルスペンをご使用ください。指やスタイルスペンを使用せず、爪やペン先などで操作を行った場合、タッチパネルが正常に反応しないでござりますのでご注意ください。
- タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷がついて破損の原因となります。
- タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。
- 濡れた指でタッチパネルの操作を行った場合、タッチパネルが正常に反応しないことがありますのでご注意ください。
- 手袋を着用したままでタッチパネルの操作を行った場合、タッチパネルが正常に反応しないので、スタイルスペンまたは指での操作をお勧めします。
- タッチパネルの操作を行うとき、人と蛍光灯との距離が 50 cm 以下の場合は、タッチパネルが正常に反応しないことがありますのでご注意ください。
- 電気的ノイズの発生する機器（発電機、エアコン等）のそばでのご使用は避けてください。電気的ノイズの影響により、誤動作を起こす原因となりますのでご注意ください。

3.5 トップメニューについて

操作パネルのメニューを押すと、トップメニューを表示します。トップメニューに表示するキーは、お使いの環境に合わせて自由にカスタマイズできます。

トップメニューは3画面に拡張できます。トップメニューには1画面に12個ずつ、最大で25個のショートカットキーを配置できます。[設定メニュー]は、1ページ目の右下に固定で表示されます。

よく使う機能のショートカットキーを、トップメニューに配置しておけば、目的の機能に素早くアクセスできるため便利です。

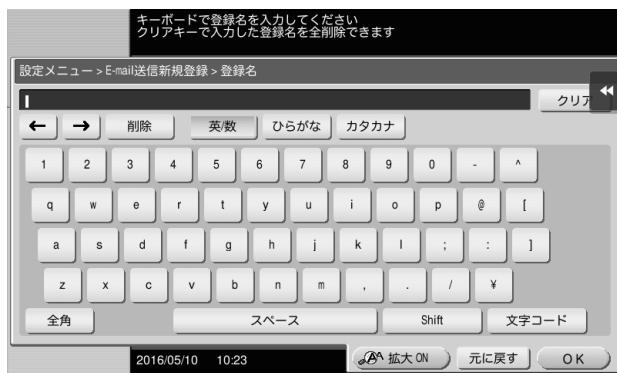
さらに、トップメニューの背景などを、好みに応じて変更できます。



No.	名前	説明
1	トップメニューキー	任意の機能を割当てたショートカットキーを表示します。 お使いの環境に合わせて、自由にカスタマイズできます。 初期設定では、[コピー]、[ファクス / スキャン]、[ボックス]、[簡単セキュリティー]、[アドレス帳]、[設定メニュー] が配置されています（[設定メニュー] は固定です）。
2	[ユニバーサル設定]	タッチパネルの調整や、キー操作音の変更など、操作パネルの使用環境を設定できます。 詳しくは、ユーザーズガイドCDの[アクセシビリティ]をご覧ください。
3	[カウンター]	本機で印刷したページ数の累計を機能別に集計した情報を表示します。
4	ユーザー名／部門名	ユーザー認証／部門管理を導入している場合に、現在ログイン中のユーザー名または部門名を表示します。 ユーザー認証と部門管理を併用している場合は、ユーザー名を表示します。
5	[Language]	パネルの表示言語を一時的に切替えます。 ・ [言語一時変更] が [使用する] に設定されている場合に表示されます。 設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [画面カスタマイズ設定] - [言語一時変更]
6	[機能検索]	コピー機能、ファクス / スキャン機能の設定項目を検索し、検索結果から対象の機能の画面へ移動することができます。
7	[ジョブ表示]	実行中のジョブや待機中のジョブを表示します。ジョブの履歴を確認したり、通信レポートを印刷したりすることもできます。 ジョブの実行中は、実行中のジョブの動作状況を表示します。
8	ページインジケーター	トップメニューキーが複数ページに割当てられている場合に、現在何ページ目を表示しているかを確認できます。
9	スライドメニュー	メニュー表示用のタップキーをタップすることで、画面の端からスライドして表示されるメニューです。
10	ページ切換えキー	トップメニューキーが複数ページに割当てられている場合に、ページを切換えます。 画面をドラッグまたはフリックすることでも、ページを切換えることができます。
11	[設定メニュー]	本機の設定をしたり、本機の使用状況を確認したりできます。

3.6 文字入力のしかた

宛先登録や、プログラムの登録など、文字の入力が必要なときは、タッチパネルに表示されるキーボード画面を使います。



項目	説明
キーボード	入力する文字のキーをタップします。
[クリア]	入力した文字や値を削除します。
[←] / [→]	カーソルを動かします。
[削除]	入力した文字を 1 文字ずつ削除します。
[英 / 数]	英数字を入力するときにタップします。 ・ 全角の英数字を入力するときは「[全角]」をタップします。 ・ 大文字、記号を入力するときは「[Shift]」をタップします。
[ひらがな]	ひらがなや漢字を入力するときにタップします。 ・ 濁音や半濁音、拗音などを入力するときは「[他かな]」をタップします。 ・ 漢字に変換するときは「[変換]」をタップして、表示された候補から漢字を選択します。 ・ 漢字に変換しないときは、「[無変換]」をタップして文字を確定します。
[カタカナ]	カタカナを入力するときにタップします。 ・ 濁音や半濁音、拗音などを入力するときは「[他かな]」をタップします。
[文字コード]	16進数（1～0、A～F の組合せ）の文字コードで、文字や記号を入力するときにタップします。
[拡大 ON]	キーボードを拡大表示します。 ・ 拡大表示を解除するときは、「[拡大 OFF]」をタップします。
[中止]	入力を中止し、前の画面に戻ります。 入力した文字や値は削除されます。
[元に戻す]	入力した文字や値を削除します。
[OK]	入力した文字や値を確定します。

4

用紙のセット方法

4 用紙のセット方法

4.1 用紙について

4.1.1 対応する用紙の種類を確認する

用紙種類	用紙坪量	用紙容量
普通紙 再生紙 片面専用用紙 ^{*2} 特殊紙 ^{*3} 色紙 ^{*5} ユーザー紙 1 ^{*6} ユーザー紙 2 ^{*6}	60 g/m ² ~ 90 g/m ²	手差しトレイ：100 枚 ^{*1} トレイ 1：550 枚 ^{*1}
レターヘッド紙 ^{*4}	60 g/m ² ~ 90 g/m ²	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚
厚紙 1 ユーザー紙 3 ^{*6}	91 g/m ² ~ 120 g/m ²	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚
厚紙 1+ ユーザー紙 4 ^{*6}	121 g/m ² ~ 157 g/m ²	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚
厚紙 2 ユーザー紙 5 ^{*6}	158 g/m ² ~ 210 g/m ²	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚
コート紙 1	100 g/m ² ~ 120 g/m ²	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚
コート紙 1+	121 g/m ² ~ 157 g/m ²	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚
コート紙 2	158 g/m ²	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚
はがき	—	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚
封筒 ^{*7}	—	手差しトレイ：10 枚 トレイ 1：30 枚
ラベル用紙	—	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚

^{*1} 80 g/m² の場合。

^{*2} 両面に印刷したくない用紙（すでに 1 面目に印刷がされている用紙など）。

^{*3} 上質紙などの特別な用紙。

^{*4} あらかじめ社名や定型文などが印刷された用紙。

^{*5} カラーペーパーなど色が付いた用紙。

^{*6} よく使う用紙種類として本機に登録されている用紙。

^{*7} トレイ 1 に対応する封筒サイズは、Com10 と長形 3 号のみ。

重要

普通紙以外の用紙を専用紙と呼びます。給紙トレイに専用紙をセットした場合、用紙の種類を正しく設定してください。正しく設定しないと、紙づまりや画像不良の原因となります。



参考

- 用紙坪量、メディア調整の設定については、サービス実施店にお問い合わせください。
- 片面印刷された用紙の裏面に印刷する場合は、手差しトレイに用紙をセットし、用紙の設定で【両面 2 面目】を選ぶことで、印刷画質の低下を軽減できます。【両面 2 面目】は、手差しトレイに普通紙、厚紙 1、厚紙 1+、厚紙 2 をセットしたときに設定できます。

4.1.2 対応する用紙のサイズを確認する

給紙口	通紙可能サイズ
手差しトレイ	A4、B5、A5、B6、A6 8-1/2×14、8-1/2×12-11/16、8-1/2×11、8×10-1/2、8×10、7-1/4 ×10-1/2、5-1/2×8-1/2 はがき、往復はがき、封筒(B5、DL、Com10、Monarch、洋形2号、洋 形3号、長形3号、長形4号)、100 mm×150 mm 8×13、16K 幅：92 mm～215.9 mm、長さ：148 mm～355.6 mm
トレイ1	A4、B5、A5、B6、A6 8-1/2×14、8-1/2×12-11/16、8-1/2×11、8×10-1/2、7-1/4×10- 1/2、5-1/2×8-1/2 はがき、往復はがき、封筒(Com10、長形3号) 8×13

* Foolscap には、8-1/2×13-1/2、8-1/2×13、8-1/4×13、8-1/8×13-1/4、8×13 の5種類があります。いずれか1種類が選択可能です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。



参考

- すべての用紙サイズで、プリント時は用紙の端から 4.2 ± 2.0 mm、コピー時は用紙の端から 4.0 ± 2.0 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。
- 封筒では、表面（宛先面）への印刷のみが可能です。また、（表面の）封の重なる部分への印刷結果は保証されません。保証されない領域の大きさは、封筒の種類によって異なります。
- ページ余白の設定はお使いのアプリケーションによって決まります。用紙サイズや余白を既定値から選択すると、印刷できない領域が生じる場合があります。最適な結果を得るためにには、カスタム設定で本機の印刷可能領域内におさまる設定を行ってください。

4.1.3 使用上のご注意

使用できない用紙

以下のような用紙はセットしないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 熱転写プリンターやインクジェットプリンターで印刷された用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後長期間経過した用紙
- 吸湿した用紙、バインダー用の穴が開いている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙、アイロンプリント紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボスなどの加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステープル、クリップなどでとじられている用紙
- ラベルが貼られている用紙
- リボンやフック、ボタンなどの付いている用紙
- フラップ（ふた）や胴のフラップ（ふた）がかぶさる部分に、のりやはく離紙のついた封筒
- 表と裏で紙質（粗さ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

用紙の保管のしかた

用紙は、湿気の少ない冷暗所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙づまりの原因になります。

また、用紙は立てて置かずに水平に保管してください。用紙にカールがついて、紙づまりの原因になります。

4.2 手差しトレイにセットする

手差しトレイへのセットのしかた

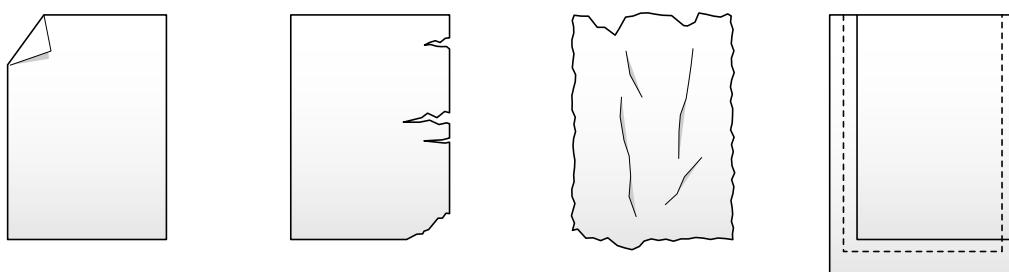
他の給紙トレイにセットされていないサイズの用紙に印刷したいときに、手差しトレイを使います。

重要

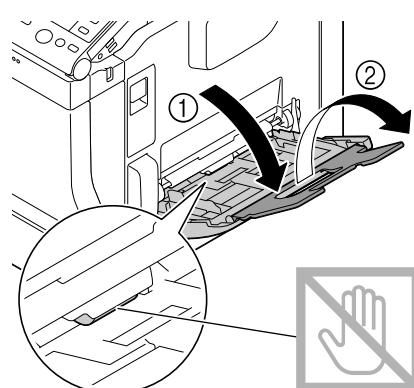
手差しトレイを使う場合は、用紙のセットと、用紙サイズおよび用紙種類の設定が必要です。

以下のような用紙は手差しトレイにセットしないでください。紙つまりや故障の原因になります。

- 折れた用紙、破れた用紙、しわのある用紙、サイズの違う用紙の束



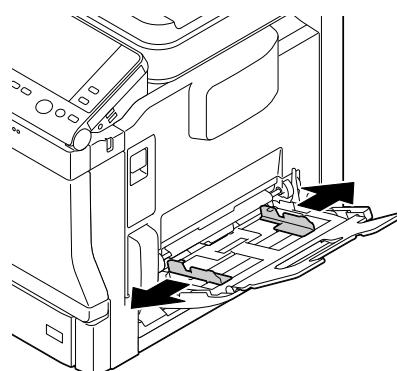
- 1 手差しトレイを開きます。



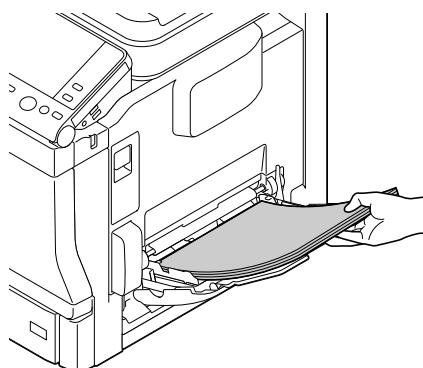
重要

給紙ローラーの表面には手を触れないように注意してください。

- 2 セットする用紙のサイズに合わせて、ガイド板をスライドします。



- 3** 印刷したい面を下向きにし、用紙をセットします。
 → 用紙の先端が奥に当たるまで差込んでください。



- セットできる用紙のサイズについて詳しくは、4-3 ページをごらんください。
 → はがき、封筒、レターヘッド紙のセット方法について詳しくは、ユーザーズガイド CD の [はじめに] をごらんください。

重要

用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。

用紙がカールしている場合は、伸ばしてからセットしてください。

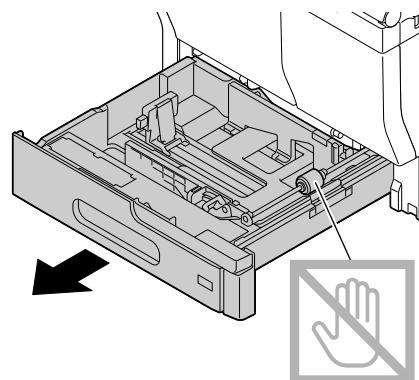
- 4** セットした用紙のサイズに合わせて、ガイド板をスライドします。
5 操作パネルから用紙の種類とサイズの設定を変更します。

→ 設定するには：[コピー] - [用紙]

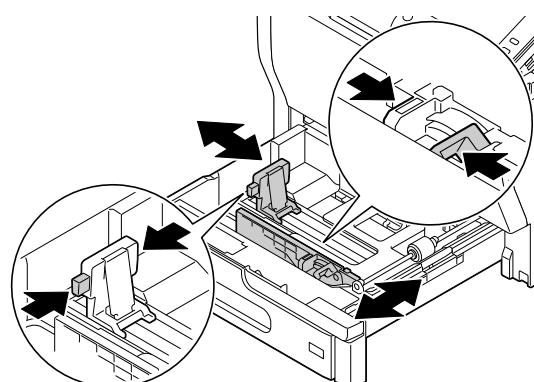
4.3 トレイ 1 にセットする

- ✓ トレイ 2／トレイ 3 は、オプションのペーパーフィーダユニットを装着している場合に利用できます。トレイ 2／トレイ 3 に用紙をセットする方法について詳しくは、ユーザーズガイド CD の [はじめに] をご覧ください。

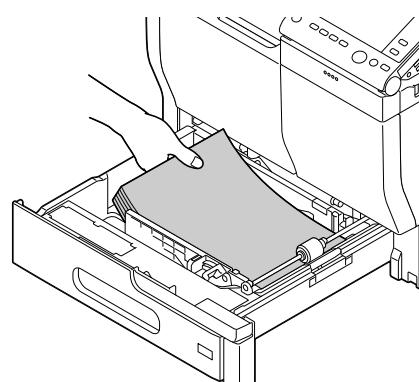
1 トレイ 1 を引出します。



2 セットする用紙のサイズに合わせて、ガイド板をスライドします。



3 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。



- セットできる用紙のサイズについて詳しくは、4-3 ページをごらんください。
- はがき、封筒、レターヘッド紙のセット方法について詳しくは、ユーザーズガイド CD の [はじめに] をご覧ください。

重要

用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。

用紙がカールしている場合は、伸ばしてからセットしてください。

4 セットした用紙のサイズに合わせて、ガイド板をスライドします。

重要

ガイド板と用紙の間に隙間ができないようにしてください。

5 トレイ 1 を閉じます。

6 操作パネルから用紙の種類とサイズの設定を変更します。

→ 設定するには：[コピー] - [用紙]

5

本機の初期設定

5 本機の初期設定

5.1 ネットワーク接続の準備（管理者向け）

LAN ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに、ネットワークに接続された LAN ケーブルが接続されていることを確認します。ケーブルの接続箇所について詳しくは、3-4 ページをごらんください。

IP アドレスを割当てる

本機に固定の IP アドレスを用意している場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイのアドレスを、手動で入力します。

操作パネルの [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP 設定] - [IPv4 設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[IP 確定方法]	IP アドレスを手動で入力するときは、[直接設定] を選びます。DHCP などによって IP アドレスを自動的に取得する場合は、[自動取得] を選んでから、自動取得の方法を指定します。初期値は [自動取得] です。
[IP アドレス]	本機に用意した固定 IP アドレスを入力します。
[サブネットマスク]	サブネットマスクを入力します。
[デフォルトゲートウェイ]	デフォルトゲートウェイを入力します。



参考

- 本機に割当てられた IP アドレスは、[設定メニュー] - [装置情報表示] で確認できます。

5.2 ファクスの準備（管理者向け）

モジュラーケーブルの接続を確認する

本機のLINEポートに、電話回線に接続されたモジュラーケーブルが接続されていることを確認します。ケーブルの接続箇所について詳しくは、3-4ページをごらんください。

お使いの電話回線の種類を指定する

本機を接続する電話回線の種類（ダイアル方式）を指定します。ダイアル方式が誤っていると通信できないため、正しく設定する必要があります。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [ダイアル方式]

構内回線（PBX）環境で使うための準備をする

構内回線（PBX）環境でお使いの場合は、外線番号を登録します。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [PBX接続設定]

ファクスの受信方法を選ぶ

ファクスの受信方法には、本機が自動で受信する方法や、ユーザーが手動で受信する方法などがあります。お使いの環境に合わせて、受信方法を設定します。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [受信方式]

発信元情報を登録する

本機の名前や会社名（発信元名）と、本機のファクス番号を登録します。

登録した情報は、送信するファクスに付加され、送信先で印刷されたファクスに発信元記録として印字されます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [発信元 / ファクス ID 登録]

本機の日時を設定する

送受信するファクスに日時を付加するため、本機の日時を設定します。設定した日時は、時刻を指定して通信するタイマー通信の基準時刻になります。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [日時設定]

5.3 セキュリティの設定（管理者向け）

5.3.1 ハードディスクの設定

本機のハードディスクに保存されるデータを暗号化して保護したい場合は、ハードディスクの暗号化の設定を行います。

ハードディスクの暗号化の設定を行うとハードディスクのフォーマットが行われるため、ハードディスク内に保存されているデータが消去されます。そのため、本機をお使いになる前に、ハードディスクの暗号化の設定を済ませておくことをおすすめします。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [セキュリティ設定] - [ストレージ管理設定] - [HDD 暗号化設定]



関連設定（管理者向け）

- セキュリティ強化モードを有効にして本機を使用する場合は、ハードディスクの暗号化の設定を行う必要があります。セキュリティ強化モードについて詳しくは、ユーザーズガイド CD の「機能 / 設定キーの説明」をごらんください。

5.3.2 [簡単セキュリティ設定] の設定

[簡単セキュリティ設定] には、本機のセキュリティ強度を高めるための設定がまとめられています。

本機をより安全にお使いいただくために、あらかじめパスワード規約の条件を満たした管理者パスワードへの変更と [簡単セキュリティ設定] の設定をすることをおすすめします。初期状態では、管理者パスワードが初期値から変更されていないときや、パスワード規約条件を満たしていないときは、セキュリティ警告画面が表示されます。

トップメニューで [簡単セキュリティ] をタップすると、[簡単セキュリティ設定] の設定画面が表示されます。設定内容について詳しくは、ユーザーズガイド CD の「機能 / 設定キーの説明」をごらんください。



関連設定（管理者向け）

- [簡単セキュリティ] は初期状態でトップメニューに表示されます。ただし、[簡単セキュリティ設定] 画面で [管理者パスワード] を初期値から変更し、かつ [パスワード規約] を [有効] に設定すると、トップメニューに [簡単セキュリティ] が表示されなくなります。再表示したい場合は、次の場所で設定できます。
設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [画面カスタマイズ設定] - [標準トップメニュー設定]

5.4 管理者パスワードについて

工場出荷時は [1234567812345678] に設定されています。

管理者パスワードは定期的に変更してください。

管理者パスワードを忘れてしまった場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

6

基本的な使い方

6 基本的な使い方

6.1 プリント機能を使う (Windows 環境の場合)

本書では、Windows 環境で印刷するための設定方法を説明します。



Mac OS 環境で印刷するための設定方法について詳しくは、ユーザーズガイド CD の [プリント] をご覧ください。

6.1.1 プリンタードライバーについて

プリンターとして本機をお使いいただくためには、コンピューターにプリンタードライバーのインストールが必要です。

プリンタードライバーには、次の種類があります。印刷の用途に合わせて選んでください。

プリンタードライバー	ページ記述言語	説明
PCL ドライバー	PCL6	オフィスで作成する一般的な原稿を印刷する場合に、標準的に利用できるドライバーです。PS ドライバーよりも早く印刷できます。
PS ドライバー	PostScript 3 Emulation	Adobe などの PS 対応のアプリケーションソフトウェアで作ったデータを忠実に印刷したいときに効果を発揮します。グラフィックや軽印刷などの色再現性を重視する分野でよく使われています。

6.1.2 印刷の準備 (ネットワーク接続)

LAN ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに、LAN ケーブルが接続されていることを確認します。

ケーブルの接続箇所について詳しくは、3-4 ページをごらんください。

ネットワーク設定を確認する

本機に IP アドレスが割当てられていることを確認します。[設定メニュー] - [装置情報表示] をタップし、IP アドレスが表示されていることを確認します。



IP アドレスが表示されていない場合は、ネットワーク設定が必要です。詳しくは、5-2 ページをごらんください。

プリンタードライバーをインストールする

インストーラーを使って、お使いのコンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

1 プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。

- インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
- インストーラーが起動しない場合は、DVD 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] (32 ビット環境の場合) または [Setup64.exe] (64 ビット環境の場合) をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。
- [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。

- 2 [使用許諾契約書に同意します] にチェックをつきます。
- 3 [セットアップ内容の選択] で [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。
接続されているプリンターが検出されます。
- 4 検出されたプリンターのリストから本機を選びます。
 - 本機が検出されない場合は、本機を再起動してください。
 - 接続されているプリンターのうち、対象機種だけを自動検出して表示します。複数台の対象機種が表示される場合は、IP アドレスで確認してください。
本機の IP アドレスは、[設定メニュー] - [装置情報表示] をタップして表示される画面で確認できます。
 - 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、[手動で指定] を選び、手動で本機の IP アドレスやホスト名を指定してください。



- 5 必要に応じて、印刷種類の初期値の設定と、インストールするプリンタードライバーの種類を設定します。
 - インストールするプリンタードライバーの種類を設定する場合は、[高度な設定] にチェックをつけ、[インストールするコンポーネント] でインストールしたいプリンタードライバーにチェックをつけます。各プリンタードライバーの特長については、6-2 ページをごらんください。初期状態では、PCL ドライバーがインストールされます。
 - [印刷種類のデフォルト設定] で、両面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするか、または片面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするかを選択できます。初期状態では、両面印刷が初期値として設定されたドライバーがインストールされます。
 - 6 [次へ] をクリックします。
 - 7 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。
 - 8 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。
- 以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

設定	説明
[内容確認]	インストール内容を確認できます。
[プリンター名の変更]	必要に応じて、本機の名前を変更します。
[プリンタープロパティ]	本機のオプション環境などの設定をします。
[印刷設定]	必要に応じて、本機の印刷設定の初期値を変更します。
[テストページ印刷]	正常に印刷できるかを確認するため、必要に応じて、テストページを印刷します。



プリンタードライバーのインストールが完了したら、プリンタードライバーの初期設定を行ってください。
詳しくは、6-6 ページをごらんください。

6.1.3 印刷の準備 (USB 接続)

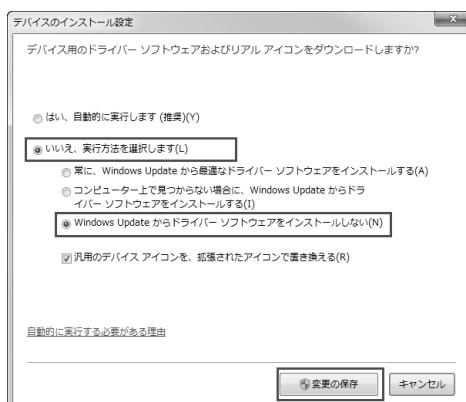
インストール設定を変更する (Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016)

Windows 7/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、プリンタードライバーをインストールする前に、コンピューターの設定を変更します。

- 1 [コントロール パネル] ウィンドウを開きます。
 - Windows 8.1/10/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、[Windows] (Windows) キーを押しながら [X] キーを押し、表示されたメニューから [コントロール パネル] をクリックします。
 - Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] をクリックします。
- 2 [システムとセキュリティ] - [システム] をクリックします。
- 3 左側のメニューにある [システムの詳細設定] をクリックします。
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- 4 [ハードウェア] タブの [デバイスのインストール設定] をクリックします。



- 5 [いいえ、実行方法を選択します] を選んでから [Windows Update からドライバーソフトウェアをインストールしない] を選び、[変更の保存] をクリックします。
 - プリンタードライバーのインストール後は、[はい、自動的に実行します (推奨)] に戻してください。



- 6 [OK] をクリックし、[システムのプロパティ] 画面を閉じます。

プリンタードライバーをインストールする

インストーラーを使って、お使いのコンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

- 1 本機のUSBポートに、USBケーブルを接続します。
 - ケーブルの接続箇所について詳しくは、3-4ページをごらんください。
 - 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。
- 2 プリンタードライバーのDVDをコンピューターのDVDドライブに入れます。
 - インストーラーが起動するのを確認し、手順3へ進みます。
 - インストーラーが起動しない場合は、DVD内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] (32ビット環境の場合) または [Setup64.exe] (64ビット環境の場合) をダブルクリックし、手順4へ進みます。
 - [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- 3 [使用許諾契約書に同意します] にチェックをつけます。
- 4 [セットアップ内容の選択] で [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。接続されているプリンターが検出されます。
- 5 検出されたプリンターのリストから本機を選択します。



- 6 必要に応じて、印刷種類の初期値の設定と、インストールするプリンタードライバーの種類を設定します。
 - インストールするプリンタードライバーの種類を設定する場合は、[高度な設定] にチェックをつけ、[インストールするコンポーネント] でインストールしたいプリンタードライバーにチェックをつけます。各プリンタードライバーの特長については、6-2ページをごらんください。初期状態では、PCL ドライバーがインストールされます。
 - [印刷種類のデフォルト設定] で、両面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするか、または片面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするかを選択できます。初期状態では、両面印刷が初期値として設定されたドライバーがインストールされます。
 - 7 [次へ] をクリックします。
 - 8 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。
 - 9 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。
- 以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

設定	説明
[内容確認]	インストール内容を確認できます。
[プリンター名の変更]	必要に応じて、本機の名前を変更します。

設定	説明
[プリンタープロパティ]	本機のオプション環境などの設定をします。
[印刷設定]	必要に応じて、本機の印刷設定の初期値を変更します。
[テストページ印刷]	正常に印刷できるかを確認するため、必要に応じて、テストページを印刷します。



プリンタードライバーのインストールが完了したら、プリンタードライバーの初期設定を行ってください。詳しくは、6-6 ページをごらんください。

6.1.4 プリンタードライバーの初期設定

はじめてお使いになるときは、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを、プリンタードライバーに設定します。

1 プリンターのウィンドウを表示します。

- Windows 8.1/10 の場合は、[Windows] (⊞) キーを押しながら [X] キーを押し、表示されたメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、[Windows] (⊞) キーを押しながら [X] キーを押し、表示されたメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェア] - [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows Server 2008 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。

2 プリンターのプロパティを開きます。

- Windows 7/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] から、表示されるプリンター名をクリックします。
 - Windows Server 2008 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして [プロパティ] をクリックします。
- [プロパティ] 画面が表示されます。

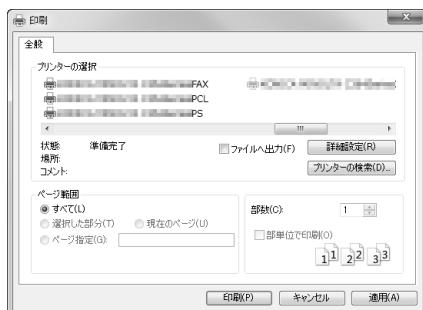
3 [装置情報] タブで、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを設定します。

- 初期設定では、[取得設定 ...] の [自動取得] が有効になっていますので、自動的に本機の情報が取得され、[装置オプション] に反映されます。
- [取得設定 ...] の [自動取得] を無効にしている場合は、[装置情報取得] をクリックすると、本機の情報を取得して [装置オプション] に反映します。
- 本機と通信できない場合は、[装置オプション] から手動で設定します。変更する項目を一覧から選び、[設定値の変更] から設定値を選びます。

4 [OK] をクリックします。

6.1.5 印刷のしかた

- 1 アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
- 2 [プリンターネーム] (または [プリンターの選択]) で、印刷したいプリンターが選ばれていることを確認します。
→ [印刷] 画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。



- 3 印刷するページ範囲や部数を指定します。
- 4 必要に応じて、[プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックし、プリンタードライバーの印刷設定を変更します。
→ ここで変更した印刷設定は、アプリケーションソフトウェアを終了すると変更前の状態（初期値）に戻ります。
→ プリンタードライバーの印刷設定について詳しくは、ユーザーズガイド CD の [プリント] をご覧ください。
- 5 [印刷] をクリックします。
印刷が実行されます。

6.2 スキャン送信機能を使う

6.2.1 スキャン送信機能でできること

本機で読み込んだ原稿データは、コンピューターやサーバーへ送信したり、本機のハードディスク（ボックス）に保存したりできます。

スキャン送信機能には、次の種類があります。

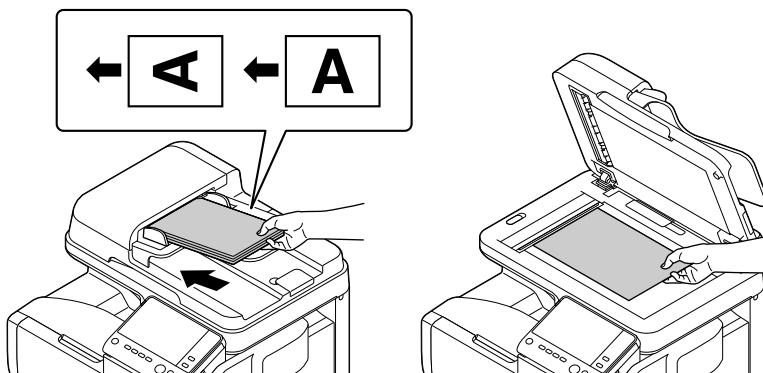
機能	説明
E-mail 送信	変換したファイルを E-mail に添付して、任意のメールアドレスに送信します。
SMB 送信	変換したファイルをコンピューターの共有フォルダーへ送信します。送信先を自分のコンピューターやファイルサーバーなどにして使います。
FTP 送信	変換したファイルを FTP サーバーへ送信します。FTP サーバーを通じてファイルの受渡しをするときに便利です。
WebDAV 送信	変換したファイルを WebDAV サーバーへ送信します。WebDAV サーバーを通じてファイルの受渡しをするときに便利です。
ボックス保存	本機で読み込んだ原稿データを本機のボックスに保存します。 ボックスに保存した原稿データは、共有フォルダーへ送信したり、E-mail に添付して送信したりすることもできます。
WS スキャン	面倒な環境設定をすることなく、コンピューターからスキャンの指示をして原稿データを取り込んだり、本機でスキャンした原稿データをコンピューターに送信したりできます。 Windows コンピューターで対応しています。
TWAIN スキャン	ネットワーク上のコンピューターから、TWAIN 機器に対応した各種アプリケーションを通じて、本機で読み込んだ原稿データをファイルに変換して取込めます。
スキャンサーバー送信	変換したファイルをスキャンサーバーへ送信します。ファイルを受取ったスキャンサーバーは、ワークフローに従って E-mail に添付して送信したり、コンピューターの共有フォルダーに保存したりします。
Panel Link スキャン	本機で読み込んだ原稿データを、端末のストレージまたは Google ドライブに送信します。 bizhub Remote Access の Panel Link 機能で、Android/iOS 端末から本機を遠隔操作しているときに利用できます。



スキャン送信機能を使うには、あらかじめ設定が必要な場合があります。各機能の使い方について詳しくは、ユーザーズガイド CD の [スキャン] をご覧ください。

6.2.2 送信のしかた

- 1 原稿をセットします。



2 [スキャン] または [ファクス / スキャン] をタップします。



3宛先を指定します。

- あらかじめ登録しておいた宛先から選択したり、宛先情報を直接入力したりできます。宛先の登録のしかたについて詳しくは、6-20 ページをごらんください。
- 複数の宛先を指定することで、コンピューターへの送信、ファクス送信などが同時に実行できます。初期設定では、複数の宛先の指定が禁止されているため設定変更が必要です。詳しくは、ユーザーズガイド CD の [機能 / 設定キーの説明] をごらんください。



4 読込む原稿のサイズを設定します。

- 原稿サイズは、[読み込みサイズ] で設定します（初期値：[A4]）。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。

5 必要に応じて、スキャン送信のオプション設定します。

- オプション設定について詳しくは、ユーザーズガイド CD の [スキャン] をごらんください。

6 スタートを押します。

- 必要に応じて、送信前に【設定確認】をタップし、指定した宛先や設定内容を確認します。
- 宛先の指定や、オプション設定をやり直したいときは、リセットを押します。



送信が開始されます。

- 原稿の読み込み中にストップを押すと、読み込みを停止し、停止中のジョブの一覧を表示します。原稿の読み込みを中止したいときは、一覧から停止中のジョブを削除します。

6.3 ファクス機能を使う

6.3.1 ファクス機能について

ファクスは、電話回線を使って、読み込んだ原稿（紙の原稿）の送信や送られてきたデータの受信を行う通信機能です。本機には、ファクスに関するさまざまな機能が備わっており、原稿に合わせて読み込みの設定を変更したり、受信したファクスをボックスに保存したりすることができます。

ファクス使用時の注意は以下のとおりです。

- 本機を接続できる電話回線は以下のとおりです。
 - 加入電話回線（ファクス通信網を含む）
 - PBX（構内交換機 2 線式）
- カラーでのファクス通信はできません。
- 外部電話としてビジネスホンは接続できません。
- キヤッヂホンは併用できません。
- お客様がお使いの社内ネットワークなどで、デジタル専用線を多重化している場合は、ファクス通信の伝送速度が制限されたり、スーパー G3 による通信ができなくなる可能性があります。
- ごくまれに、工場出荷時の設定で通信エラーが発生する場合があります。これらの制約は、多重化装置が音声使用を前提に回線の使用帯域を限界まで制限しているためです。なお、ネットワークを構成する装置によってもこれらの制約は異なります。詳しくは、お客様のネットワーク管理者にお問い合わせください。

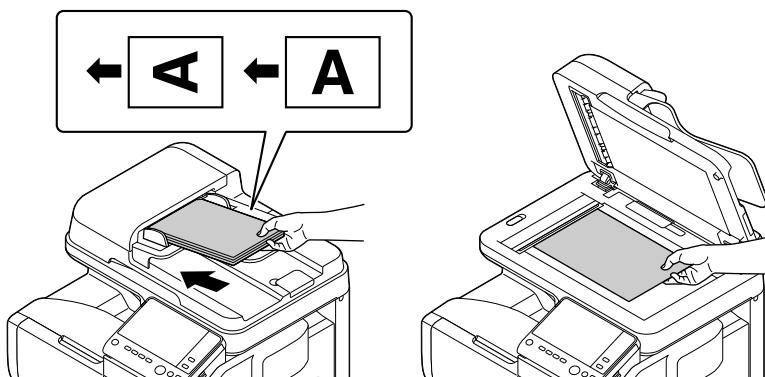


参照

ファクス機能を使用するには、あらかじめ本機で使用環境の設定が必要です。詳しくは、5-3 ページをごらんください。

6.3.2 送信のしかた

- 1 原稿をセットします。



- 2 [ファクス / スキャン] をタップします。



3 ファクス番号を指定します。

- あらかじめ登録しておいた宛先から選択したり、宛先情報を直接入力したりできます。宛先の登録のしかたについて詳しくは、6-20 ページをごらんください。
- 複数の宛先を指定することで、コンピューターへの送信、ファクス送信などが同時に実行できます。初期設定では、複数の宛先の指定が禁止されているため設定変更が必要です。詳しくは、ユーザーズガイド CD の [機能 / 設定キーの説明] をごらんください。



4 読込む原稿のサイズを設定します。

- 原稿サイズは、「読み込みサイズ」で設定します（初期値：[A4]）。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。

5 必要に応じて、ファクス送信のオプション設定をします。

- オプション設定について詳しくは、ユーザーズガイド CD の [ファクス] をごらんください。

6 スタートを押します。

- 必要に応じて、送信前に「設定確認」をタップし、指定した宛先や設定内容を確認します。
- 宛先の指定や、オプション設定をやり直したいときは、リセットを押します。



- 指定した宛先や設定内容を確認する画面が表示された場合は、内容を確認して [送信] をタップしてください。
 - キーボード画面が表示された場合は、設定されているパスワードを入力して、[送信] をタップしてください。パスワードについては、本機の管理者にお問い合わせください。
- 送信が開始されます。
- 原稿の読み込み中にストップを押すと、読み込みを停止し、停止中のジョブの一覧を表示します。原稿の読み込みをやり直したいときは、一覧から停止中のジョブを削除します。

6.3.3 ファクス送信機能の紹介

ここでは、便利なファクス送信機能を紹介します。各機能の使い方について詳しくは、ユーザーズガイド CD の [ファクス] をごらんください。

機能	概要
タイマー通信	通信を開始する時刻を設定しておくと、指定した時刻に自動的に通信を開始する機能です。

機能	概要
宛先確認送信	ファクス送信に指定したファクス番号と、送信先のファクス番号情報 (CSI) とを照合し、一致した場合にファクスを送信する機能です。
F コード送信	F コード (SUB アドレス、送信 ID) を指定して送信する機能です。親展通信と中継配信ができます。 <ul style="list-style-type: none"> 親展通信は、登録番号やパスワードが必要な親展受信ボックスを使って、特定の相手とだけ通信する機能です。 中継配信は、1 通のファクスを中継機に送信すると、受信した中継機が、あらかじめ登録してあるグループ宛先に受信したファクスを配信する機能です。
クイックメモリー送信	原稿を 1 ページ読取ると同時にファクス送信を開始する方法です。発信元記録に総ページ数を入れることもできます。
海外通信モード	伝送速度 (情報を送る速さ) をゆっくりとしたスピードに設定して送信する機能です。通信状態の悪い地域にファクスを送る場合などに有効です。
パスワード送信	パスワードをつけてファクスを送信する機能です。パスワードでファクスの通信相手を制限している (閉域受信機能を設定している) 装置に送る場合に使います。
ポーリング送信	受信側からの受信指示 (ポーリング指示) で送信するファイルを、あらかじめ内蔵ハードディスクに蓄積 (登録) しておく機能です。

6.3.4 ファクス受信機能の紹介

ここでは、便利なファクス受信機能を紹介します。各機能の使い方について詳しくは、ユーザーズガイド CD の [ファクス] をご覧ください。

機能	概要
メモリー代行受信	用紙つまりや消耗品ぎれなどで、受信したファクスを印刷できないときには、本機が印刷できる状態になるまでファクスをメモリーに保存する機能です。
TSI 受信振分け	送信元のファクス番号 (TSI) をもとに、受信したファクスを設定したボックスに自動的に振分けたり、コンピューターの共有フォルダーやメールアドレスに自動転送したりする機能です。
転送ファクス	受信したファクスを、あらかじめ設定しておいた宛先へ転送する機能です。
強制メモリー受信	受信したファクスを本機の強制メモリー受信ボックスに保存する機能です。受信したファクスの内容を確認して、必要なものだけを印刷できます。
親展受信	登録番号やパスワードが必要なボックス (親展ボックス) を使って、特定の相手とだけ通信する機能です。
中継受信	1 通のファクスを中継機に送信すると、受信した中継機が、あらかじめ登録してあるグループ宛先に受信したファクスを配信する機能です。
閉域受信	パスワードでファクスの通信相手を制限する機能です。
ポーリング受信	送信元でポーリング用に登録されているファイルを、本機から指示して受信する機能です。
PC-FAX 受信	受信したファクスを強制メモリー受信ボックスまたは F コード (SUB アドレス) で指定されたボックスに、自動的に保存する機能です。保存されたファクスは、ボックスからコンピューターに取れます。
夜間受信	あらかじめ設定した夜間時間帯に受信したファクスの印刷を禁止する機能です。

6.3.5 インターネットファクス機能の紹介

インターネットファクスは、企業内ネットワークやインターネットを通じて送受信するファクスです。

コンピューターと同じネットワークを利用してるので、遠隔地へ送信するときや、原稿の枚数が多いときでも、通信費を気にせず送受信できます。

インターネットファクス機能について詳しくは、ユーザーズガイド CD の [ネットワークファクス] をご覧ください。

6.3.6 IP アドレスファクス機能の紹介

IP アドレスファクスは、企業内ネットワークなど、限られたネットワーク内で送受信するファクスです。

宛先には IP アドレスを指定します。コンピューターと同じネットワークを使うので、通常のファクス送信のような通信費がかかりません。

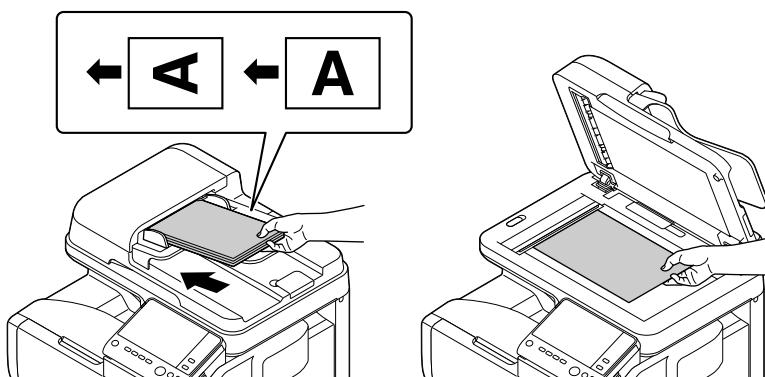
また、宛先は IP アドレスのほか、ホスト名やメールアドレスを使うこともできます。

IP アドレスファクス機能について詳しくは、ユーザーズガイド CD の [ネットワークファクス] をご覧ください。

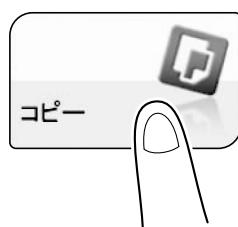
6.4 コピー機能を使う

6.4.1 コピーのしかた

- 1 原稿をセットします。



- 2 [コピー] をタップします。



- 3 読込む原稿のサイズを設定します。

→ 原稿サイズは、[原稿設定] で設定します（初期値：[A4]）。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。

- 4 必要に応じて、コピーの各種設定をします。

→ 設定を変更すると、[出力] の画像に反映されるため、出力イメージを確認しながら設定できます。
→ 各種設定をやり直したいときは、リセットを押します。



→ コピーの設定については、6-16 ページをごらんください。

- 5** 必要に応じて、テンキーで部数を指定します。
- [部数] をタップするとテンキーが表示されます。
 - 10キー呼び出し（初期値：登録キー3）を押すとタッチパネルにテンキーを表示して入力できます。
 - 部数の入力をやり直したいときは、[C]（クリア）をタップします。
- 6** スタートを押します。
- 必要に応じて、コピーを開始する前に [設定確認] をタップし、設定内容を確認します。



原稿が読み込まれ、コピーが開始されます。

- 原稿の読み込み中や印刷中にストップを押すと、処理を停止し、停止中のジョブの一覧を表示します。操作を中止したいときは、一覧から停止中のジョブを削除します。
- 印刷中に「コピー予約できます。」と表示されたら、次の原稿を読み込むことができます。

6.4.2 コピー機能の紹介

ここでは、便利なコピー機能を紹介します。各機能の使い方について詳しくは、ユーザーズガイドCDの「[コピー]」をごらんください。

機能	概要
[割り込み]	急な用件でコピーをしたいときは、他の原稿の印刷中でも処理を一時的に中断させて、割込んでコピーできます。
確認コピー	先に1部だけコピーして仕上りを確認してからコピーできます。 大量の部数をコピーするときは、確認コピー機能を使うことで、大量のミスコピーを未然に防ぐことができます。
[カラー]	コピーするときの色を選びます。
[濃度]	コピー画像の濃淡を調整します。
[原稿画質]	原稿の記載内容に適した設定を選び、最適な画質でコピーします。
[原稿設定]	読み込む原稿のサイズを選びます。
[用紙]	用紙のサイズと種類を選んでコピーします。また、各給紙トレイにセットされている用紙のサイズや種類の設定を変更することもできます。
[倍率]	原稿画像を任意の倍率で拡大または縮小してコピーします。
[両面 / ページ集約]	原稿を用紙の両面にコピーします。また、複数のページを1枚の用紙の同じ面に縮小してコピーします。
[仕上り]	複数の部数をコピーするときに、排紙する順番をソートにするかグループにするかを選びます。
[ブック原稿]	本やカタログなどの見開き原稿を、左右のページそれぞれに分割してコピーしたり、見開きのままコピーしたりできます。
[ページ連写]	ステープルを取り外したカタログなどの見開き原稿を、左右のページそれぞれに分割してコピーします。
[連続読み込み]	原稿の枚数が多く、1度のセットでADFに載せきれない場合でも、原稿を数回に分けて読み込んで、1つのジョブとして扱えます。
[下地調整]	新聞紙や再生紙など、下地に色が付いている原稿や、裏面が透けてしまう薄い原稿などをコピーする場合に下地の濃度を調整できます。

機能	概要
[文字再現]	原稿の写真(図やグラフなど)と文字が重なっている場合などに、写真や文字を強調します。
[光沢コピー]	画像に光沢をつけてコピーします。
[ネガポジ反転]	画像の明暗や色を反転させてコピーします。写真のネガフィルムのような仕上がりになります。
[ベースカラー]	原稿の白地部分に、指定した色で背景色をつけてコピーします。
[カラー画質調整]	原稿のカラー画質(明度、彩度、カラーバランスなど)を調整してコピーします。
[小冊子]	小冊子の形態になるように、原稿データの順番を並替え、見開きで両面コピーします。
[とじしろ]	コピーした用紙をとじるためのとじしろ(余白)を作つて印刷します。とじ方向を選び、とじ方向のとじしろ量を調整します。
[画像シフト]	用紙に対する画像の印刷位置を、上下左右にずらして細かく調整します。
[鏡像]	鏡に映つたイメージのように、原稿の左右を反転してコピーします。
[リピート]	1枚の原稿を1枚の用紙の同じ面に繰り返してコピーします。
[拡大連写]	原稿画像を拡大し、複数の用紙に分割してコピーします。コピーした用紙をつなぎ合わせると、ポスターのように大きく仕上ります。
[画像の収め方]	原稿画像を、どのように用紙に収めるかを設定します。原稿の一部を用紙いっぱいに拡大したり、原稿のサイズはそのままで、用紙の中央に配置したりできます。
[カバーシート]	原稿の最初と最後のページに、表紙として本文と異なる用紙を挿入します。
[インターフォント]	指定したページに本文とは異なる用紙(色紙や厚紙など)を挿入します。
[差込みページ]	ADFで読込んだ原稿の指定したページの後ろに、原稿ガラスで読込んだ原稿を挿入します。
[章分け]	原稿を両面コピーするときに、章の先頭ページが、必ず表面になるようにコピーします。
[日付 / 時刻]	日付や時刻を追加してコピーします。
[ページ番号]	ページ番号や章番号を追加してコピーします。
[スタンプ]	先頭ページまたはすべてのページに、「回覧」や「複製厳禁」などの文字を印字します。
[繰り返しスタンプ]	ページ全体に、「コピー」や「社外秘」などのスタンプを印字します。
[ヘッダー / フッター]	指定したページの上下の余白部分(ヘッダー/フッター)に、日付や時刻をはじめ、任意の文字を追加します。
[ウォーターマーク]	ページの中央に「コピー」や「社外秘」などの文字を淡い色で追加してコピーします。
[オーバーレイ]	1枚目に読込んだ原稿画像を、2枚目以降に読込んだ原稿画像に合成します。
[登録オーバーレイ]	[画像登録]で、原稿画像をオーバーレイ画像として本機のハードディスクに登録します。また、登録したオーバーレイ画像を呼出して、あとから読込んだ原稿画像に合成します。
[コピープロテクト]	すべてのページに、「コピー」や「社外秘」などの文字を、背景パターンの中に目立たない文字として印字します。
[枠消し]	原稿の周囲4辺を同じ幅で消去します。辺ごとに消去する幅を設定することができます。
[原稿外消去]	ADFを開いたまま、原稿ガラス上に原稿をセットしてコピーするときに、原稿を自動的に検知し、原稿以外の部分の影を消去します。
[ボックス保存]	原稿のイメージを本機のハードディスク(ボックス)に保存します。また、ボックスに保存すると同時に印刷することもできます。
[プログラムジョブ]	セットする原稿ごとに異なる設定で読み込み、一度にコピーします。
[カードコピー]	カードをコピーするとき、簡単な操作で、1枚の用紙の同じ面にカードの表裏を並べてコピーします。

6.5 USB メモリー内のファイルを印刷する

対応する USB メモリー

本機に接続できる USB メモリーの仕様は次のとおりです。

項目	対応
インターフェース	USB(2.0/1.1) インターフェース対応のもの
フォーマット形式	FAT32 形式でフォーマットされているもの
セキュリティ	暗号化やパスワードロックなどのセキュリティ機能が付加されていないか、または OFF にできるもの
メモリー容量	上限なし ・ USB メモリーによっては使用できない場合があります。 ・ 複数ドライブとして認識される場合は使用できません。

参考

本機に USB メモリーを接続するときは次の点にご注意ください。

- 操作パネル近くの側面にある USB コネクターを使用してください。
- USB メモリーへの保存中や USB メモリー内のファイルの印刷中には、USB メモリーを抜かないでください。
- USB メモリー以外の USB 機器（ハードディスク、USB ハブなど）は使用しないでください。
- 本機が起動中で、操作パネルに砂時計の表示が出ているときに USB メモリーの抜き差しを行わないでください。
- USB メモリーを差込んだ直後に抜かないでください。

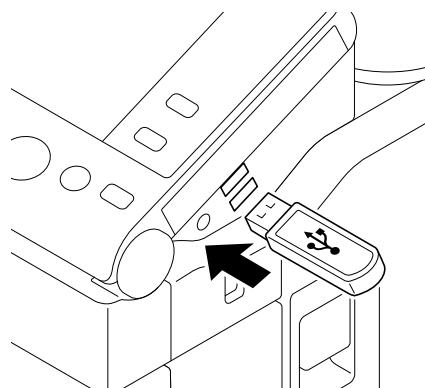
印刷のしかた

印刷できるファイルの形式は、PDF、コンパクト PDF、JPEG、TIFF、XPS、コンパクト XPS、OOXML(.docx/.xlsx/.pptx)、PPML(.ppml/.vdx/.zip) です。

参考

- 暗号化された PDF や、サーチャブル PDF、アウトライン PDF も印刷できます。
- 1200 dpi で保存されたファイルを印刷する場合は、600 × 600 dpi に変換されます。

- 1 本機に USB メモリーを接続します。

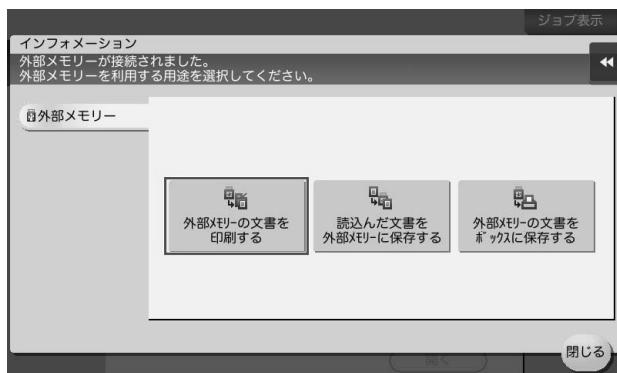


重要

本機の起動中は、USB メモリーの抜き差しはしないでください。

2 [外部メモリーの文書を印刷する] をタップします。

→ ボックスモードで [システム] - [外部メモリー] をタップしても同じ操作ができます。



3 印刷したいファイルを選び、[印刷] をタップします。

- [ファイルパス] で、印刷したいファイルが保存されているフォルダーのパスを直接入力できます。
- [上へ] をタップすると、上の階層へ移動します。
- [開く] をタップすると、フォルダーを開き、下の階層へ移動します。
- [文書詳細] をタップすると、選んだファイルの詳細情報を確認できます。



4 必要に応じて、印刷前のオプション設定をします。

→ オプション設定について詳しくは、ユーザーズガイド CD の [ボックス] をご覧ください。

5 スタートを押します。

印刷が開始されます。



6 印刷が完了したら、本機から USB メモリーを取り外します。

6.6 宛先を登録する

6.6.1 短縮宛先について

よく送信する宛先を本機に登録することで、送信のたびに宛先を入力する手間が省けます。本機に登録した宛先を、短縮宛先と呼びます。

短縮宛先は、2000 件まで登録できます。登録できる宛先の種類は、送信のしかたによってメールアドレスやコンピューター名などになります。



短縮宛先は Web Connection でも登録できます。登録のしかたについて詳しくは、ユーザーズガイド CD の [Web 設定ツール] をごらんください。

6.6.2 短縮宛先を登録する

設定メニューから登録する

- 1 [設定メニュー] をタップし、[宛先 / ボックス登録] を選びます。
- 2 [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] を選びます。
- 3 登録する宛先の種類選び、[新規登録] をタップします。
- 4 各項目を設定し、[OK] をタップします。

共通の設定項目	説明
[登録番号]	短縮宛先の登録番号をテンキーで入力できます。入力しない場合は、空いているもつとも若い番号が登録されます。
[登録名]	短縮宛先の登録名を入力します。半角 24 文字、全角 12 文字まで入力できます。
[登録名ふりがな]	登録名のふりがなを入力します。半角 24 文字、全角 12 文字まで入力できます。 入力しておくと、宛先を登録名順に並替えることができます。
[検索文字]	検索文字をかな、英字から選びます。ここで選んだ検索文字に従って、ファクス／スキャンモードのトップ画面で検索文字別に宛先が表示されます。よく使用する宛先の場合は [常用 (よく使う宛先)] を同時に指定すれば、検索性がよくなります。

[ファクス送信] の登録内容

設定	説明
[ファクス番号]	宛先とするファクス番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 構内回線 (PBX) 環境でお使いの場合は、[外線] をタップします（[E-] と表示されます）。登録されている外線番号が自動的に挿入されます。 ・ 構内回線 (PBX) 環境でお使いの場合は、外線番号のあとに [ポーズ] を入力すると（[P] と表示されます）、より確実なダイアルができます。 ・ ダイアル回線でプッシュ信号を発信したいときは、[トーン] をタップします（[T] と表示されます）。 ・ [-] は、ダイアルの区切り記号として入力します。ダイアルには影響ありません。

設定	説明
[回線設定]	<p>必要に応じて、登録する宛先に対するファックスの送信のしかたを指定します。ここで指定した内容は、ファックスの送信前に変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【海外通信モード】：通信状態の悪い地域にファックスを送る場合などに使います。伝送速度を落として送信します。 【ECM OFF】：ECM モードは、ITU-T(国際電気通信連合)で定められた誤り再送方式の通信です。ECM モードをもつファックス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信するため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止できます。 ECM を OFF に設定して送信することで、通信時間を短縮できます。ただし、画像の乱れや通信エラーの原因となる場合がありますので、状況に応じて設定を変更してください。 【V34 OFF】：V.34 とは、スーパー G3 のファックス通信時に使われる通信方式です。相手機または本機が内線交換機経由で回線に接続されている場合など、回線の状況によってはスーパー G3 モードで通信できない場合があります。このような場合は V.34 を OFF に設定して送信することをおすすめします。 【宛先確認送信】：宛先確認送信機能を使うときに [する] を選びます。ファックス送信に指定したファックス番号と、送信先のファックス番号情報(CSI)とを照合し、一致した場合にファックスを送信します。

[E-mail 送信] の登録内容

設定	説明
[E-mail 宛先]	宛先とするメールアドレスを入力します。Prefix や Suffix が登録されている場合は、登録したドメイン名などを呼出して、入力を補完できます。

[ファイル送信 (SMB)] の登録内容

設定	説明
[ユーザー ID]	<p>[ファイルパス] に入力したフォルダーのアクセス権限を持つユーザー名を入力します(全角/半角 64 文字以内)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークグループユーザーの場合は、ユーザー名だけを入力します。入力例：「User01」 ドメインユーザーの場合は、ユーザー名 @ ドメイン名を入力します。入力例：「User01@abc.local」
[パスワード]	[ユーザー ID] に入力したユーザーのパスワードを入力します。
[ホストアドレス]	宛先とするコンピューター名(ホスト名)または IP アドレスを入力します(253 バイト以内)。 <ul style="list-style-type: none"> コンピューター名(ホスト名)の入力例：「HOME-PC」 IP アドレス(IPv4)の入力例：「192.168.1.1」 IP アドレス(IPv6)の入力例：「fe80::220:6bff:fe10:2f16」
[接続確認実行]	[ホストアドレス] で入力したホスト名が存在するかどうかを確認します。
[ファイルパス]	[ホストアドレス] に入力したコンピューターの共有フォルダーネームを入力します(255 バイト以内)。一般的には、共有名と呼ばれています。 <ul style="list-style-type: none"> 入力例：「scan」 共有フォルダー内のフォルダーを指定したいときは、フォルダーネームの間に「¥」を入力します。 入力例：「scan¥document」
[ホスト名検索]	[ホストアドレス] に適用するホスト名を検索して探します。ホスト名を検索するには、グループ名を指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> 【グループ名】：初期状態では、自分の所属グループ名が表示されます。グループ名を変更する場合は、[変更] をタップし、グループ名を入力します(半角 15 文字以内)。グループ名の入力後、検索条件を指定して [検索実行] をタップします。 【ホスト名】：検索するホスト名を入力します(半角 15 文字以内)。ホスト名の入力後、検索条件を指定して [検索実行] をタップします。

設定	説明
[参照]	<p>タッチパネルから、ファイルを送信したいコンピューターを探して、共有フォルダーを選びます。</p> <p>認証画面が表示されたら、選んだフォルダーのアクセス権限を持つユーザー名とパスワードを入力します。認証後は、[ホストアドレス] や [ファイルパス] などが自動で入力されます。</p> <p>以下の場合、正しく参照できない可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機が接続しているネットワーク(サブネット)上に、512を超えるワークグループおよびコンピューターが存在する場合、正しく参照できない可能性があります。 IPv6 環境では参照できません。

[ファイル送信 (FTP)] の登録内容

設定	説明
[ホストアドレス]	<p>宛先とする FTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します(253 バイト以内)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ホスト名の入力例：「host.example.com」 IP アドレス (IPv4) の入力例：「192.168.1.1」 IP アドレス (IPv6) の入力例：「fe80::220:6bff:fe10:2f16」
[ファイルパス]	<p>[ホストアドレス] に入力した FTP サーバーの保存先フォルダ名を入力します(127 バイト以内)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入力例：「scan」 <p>FTP フォルダー内のフォルダーを指定したいときは、フォルダ名の間に「/」を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入力例：「scan/document」 <p>ファイルパスを指定しない場合は、「/」のみを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入力例：「/」
[ユーザー ID]	宛先の FTP サーバーで認証が必要なときは、ログインできるユーザー名を入力します(全角／半角 64 文字以内)。
[パスワード]	[ユーザー ID] に入力したユーザーのパスワードを入力します。
[anonymous]	宛先の FTP サーバーで認証が不要なときは、[ON] を選びます。 初期値は [OFF] です。
[PASV]	お使いの環境で PASV モードを利用しているときは、[ON] を選びます。 初期値は [OFF] です。
[プロキシ]	お使いの環境でプロキシサーバーを利用しているときは、[ON] を選びます。 初期値は [OFF] です。
[ポート番号]	必要に応じて、ポート番号を変更します。 通常はそのままお使いいただけます。 初期値は [21] です。

[ファイル送信 (WebDAV)] の登録内容

設定	説明
[ユーザー ID]	[ファイルパス] に入力したフォルダのアクセス権限を持つユーザー名を入力します(全角／半角 64 文字以内)。
[パスワード]	[ユーザー ID] に入力したユーザーのパスワードを入力します。
[ホストアドレス]	<p>宛先とする WebDAV サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します(253 バイト以内)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ホスト名の入力例：「host.example.com」 IP アドレス (IPv4) の入力例：「192.168.1.1」 IP アドレス (IPv6) の入力例：「fe80::220:6bff:fe10:2f16」
[ファイルパス]	<p>[ホストアドレス] に入力した WebDAV サーバーの保存先フォルダ名を入力します(142 バイト以内)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入力例：「scan」 <p>WebDAV フォルダー内のフォルダーを指定したいときは、フォルダ名の間に「/」を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入力例：「scan/document」

設定	説明
[プロキシ]	お使いの環境でプロキシサーバーを利用しているときは、[ON] を選びます。 初期値は [OFF] です。
[SSL 設定]	お使いの環境で SSL を利用しているときは、[ON] を選びます。 初期値は [OFF] です。
[ポート番号]	必要に応じて、ポート番号を変更します。 通常はそのままお使いいただけます。 初期値は [80] です。

[IP アドレスファクス送信] の登録内容

設定	説明
[宛先]	宛先とする装置の IP アドレスまたはホスト名を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> IP アドレス (IPv4) の入力例 : 「192.168.1.1」 IP アドレス (IPv6) の入力例 : 「fe80::220:6bff:fe10:2f16」 ホスト名の入力例 : 「host.example.com」(ドメイン名も含めて入力します。) 宛先はメールアドレスで指定することもできます。メールアドレスで指定する場合は、「ipaddrfax@」のあとに、送信先の IP アドレスまたはホスト名を入力します。 @ 以降を IP アドレスで入力する場合は、IP アドレスを "[]" で挟みます。 <ul style="list-style-type: none"> IP アドレス (IPv4) の入力例 : 「ipaddrfax@ [192.168.1.1]」 IP アドレス (IPv6) で入力する場合は、最初の括弧 "[" のあとに、"IPv6:" を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> IP アドレス (IPv6) の入力例 : 「ipaddrfax@ [IPv6:fe80::220:6bff:fe10:2f16]」 @ 以降をホスト名で入力する場合は、" [] " は不要です。 <ul style="list-style-type: none"> ホスト名の入力例 : 「ipaddrfax@host.example.com」
[ポート番号]	必要に応じて、ポート番号を変更します。 通常はそのままお使いいただけます。 初期値は [25] です。
[相手先機種]	宛先とする装置がカラーに対応しているかどうかを選びます。 初期値は [モノクロ機] です。

[インターネットファクス送信] の登録内容

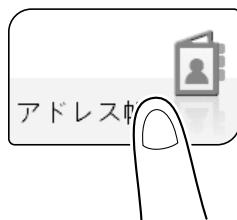
設定	説明
[E-mail 宛先]	宛先とするメールアドレスを入力します。 Prefix や Suffix が登録されている場合は、登録したドメイン名などを呼出して、入力を補完できます。
[相手機受信能力]	宛先の装置が受信できる原稿データの仕様として、[圧縮形式]、[用紙サイズ]、[解像度] をそれぞれ選びます。

 参考

- 登録した宛先の設定内容を確認するときは、登録名を選び、[設定内容] をタップします。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選び、[編集] をタップします。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選び、[削除] をタップします。

アドレス帳から登録する

- 1 トップメニューの【アドレス帳】をタップします。



- 2 【新規登録】をタップします。



- 3 【宛先種類】から、登録したい宛先の種類を選択します。

- 4 宛先情報を入力し、【登録】をタップします。

→ 登録内容については、設定メニューから登録する場合と同じです。詳しくは、6-20 ページをごらんください。

ファクス / スキャン基本画面から登録する

- 1 【ファクス / スキャン】をタップします。



2 [宛先登録] をタップします。



3 [新規登録] をタップし、登録したい宛先の種類をタップします。

4 宛先情報を入力し、[登録] をタップします。

→ 登録内容については、設定メニューから登録する場合と同じです。詳しくは、6-20 ページをごらんください。

7

索引

7 索引

I

IP アドレスファクス機能 6-14

U

USB メモリー 6-18
印刷のしかた 6-18

あ行

宛先登録 6-20
インターネットファクス機能 6-13
オプション構成 3-5

か行

各部の名称 3-2
 前面 3-2
 背面／側面 3-4
コピー機能 6-15
 コピー機能の紹介 6-16
 コピーのしかた 6-15

さ行

準備
 印刷 (USB 接続) 6-4
 印刷 (ネットワーク接続) 6-2
 ネットワーク設定 5-2
 ファクス 5-3
スキャン機能
 概要 6-8
 送信のしかた 6-8
操作パネル 3-10

た行

タッチパネル
 使用上のご注意 3-16
 操作 3-12
短縮宛先 6-20
手差しトレイ 4-4
テンキー 3-15
電源 3-7
 電源キー 3-8
 電源スイッチ 3-8
トップメニュー 3-17
トレイ 1 4-6

な行

ネットワーク設定 5-2

は行

ファクス機能 6-11
 概要 6-11
 受信機能の紹介 6-13
 準備 5-3
 送信機能の紹介 6-12
プリンタードライバー 6-2
 インストール (USB 接続) 6-4
 インストール (ネットワーク接続) 6-2
 初期設定 6-6
プリント機能 6-2
 印刷のしかた 6-7

ま行

文字入力 3-16, 3-18

や行

ユーザーズガイド 2-3
用紙
 使用できない用紙 4-3
 対応用紙サイズ 4-3
 対応用紙種類 4-2
 保管のしかた 4-3
用紙のセット
 手差しトレイ 4-4
 トレイ 1 4-6

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ジャパン株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。

<http://konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ジャパン株式会社

製造元
コニカミノルタ株式会社



A92E-9611-22

© 2016 KONICA MINOLTA, INC.

Printed in Thailand

2017.10